

「タクボ物置」保証書

このたびはタクボ物置をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記期間中、正常なご使用状態において故障が発生した場合は本書記載内容に基づき無料修理をさせていただくことをお約束するものです。修理は本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。

保証期間	お買上げ日から 2年間
製品名	タクボ物置
お買上げ日	年 月 日
お客様	ご住所 〒 お名前 電話番号 () -
販売店又は作業店	店名 電話番号 () -
カギ No.	
備考	

上記の表にご記入の上、本書を紛失されないよう大切に保管してください。

保証内容

1. 正常な設置（組立）かつ正常な使用状態において、製造上の責任による使用上支障をきたす欠陥があった場合、保証期間中（お買い上げ日より2年間）無償修理致します。
2. 保証期間中でも、下記の修理は、有料となります。
 - ①組立説明書などに基づかない施工（転倒予防措置の不備など）や専門業者以外による修理や改造、移動などに起因して発生した不具合や事故
 - ②屋上等、風が強く当たる場所に設置したことにより発生した損傷や事故
 - ③強度基準を超えた条件下でのご使用による不具合や事故
 - ④塗装の色あせ等の経年変化または接触可動部など使用に伴う磨耗などにより生じる外観上の現象
 - ⑤海岸付近や温泉地等腐食性の強い設置環境やガス給湯器などの排気ガスに起因する損傷
 - ⑥使用上の誤りや取扱説明書等による適切な維持管理を行なわなかったことに起因する不具合
 - ⑦建築躯体等の変形などによる外的要因や軟弱地盤等に起因する不具合や損傷
 - ⑧ねずみ・昆虫等の動物の行為に起因する不具合や損傷
 - ⑨火災・地震・噴火・洪水・津波・台風等の天変地異や暴動等の破壊行為により発生した不具合や損傷
 - ⑩本書の提示がない場合
3. 錠部の使用に伴う摩擦などによる不具合や損傷については、保証期間は1年です。
4. 電気部品関係については、保証期間は1年です。
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
※この保証書は、本書の提示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

タクボ製品についてのお問い合わせ

一貫して生産されるタクボ製品は、品質管理には細心の注意を払っています。万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせがございましたら、下記の弊社営業所（AM9:00～PM5:00）まで、お気軽にご連絡ください。

西条事務所/工場	〒799-1392	愛媛県西条市北条962-7	0898(65)5000(代)
仙台営業所	〒983-0035	宮城県仙台市宮城野区日の出町3丁目8-12	022(783)3360(代)
東京営業所	〒132-0001	東京都江戸川区新堀1丁目6-5	03(3698)2205(代)
埼玉営業所	〒362-0066	埼玉県上尾市大字領家91-1	048(783)0771(代)
横浜営業所	〒226-0028	横浜市緑区いぶき野31-14	045(984)1891(代)
名古屋営業所	〒485-0081	愛知県小牧市横内字下割子287-21	0568(74)5506(代)
大阪営業所	〒561-0891	大阪府豊中市走井3丁目1-2	06(6844)3300(代)
広島営業所	〒731-0231	広島市安佐北区亀山4-11-54	082(814)6690(代)
高松営業所	〒761-8075	香川県高松市多肥下町1529-8	087(865)1349(代)
松山営業所	〒790-0062	愛媛県松山市南江戸2丁目4-10	089(922)4300(代)
福岡営業所	〒812-0888	福岡市博多区板付7丁目11-15	092(591)5524(代)

(<https://www.e-ty.co.jp>)

TAKUBO 株式会社 田窪工業所

[2024.08]

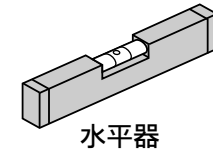
タクボ物置

組立説明書
(取扱説明書)

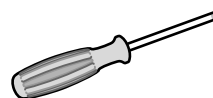
品番：1812型・2214型・2215型・2219Y型
・2515型・2519型

完成図

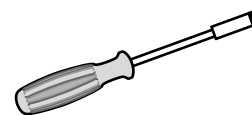
組立に必要な道具



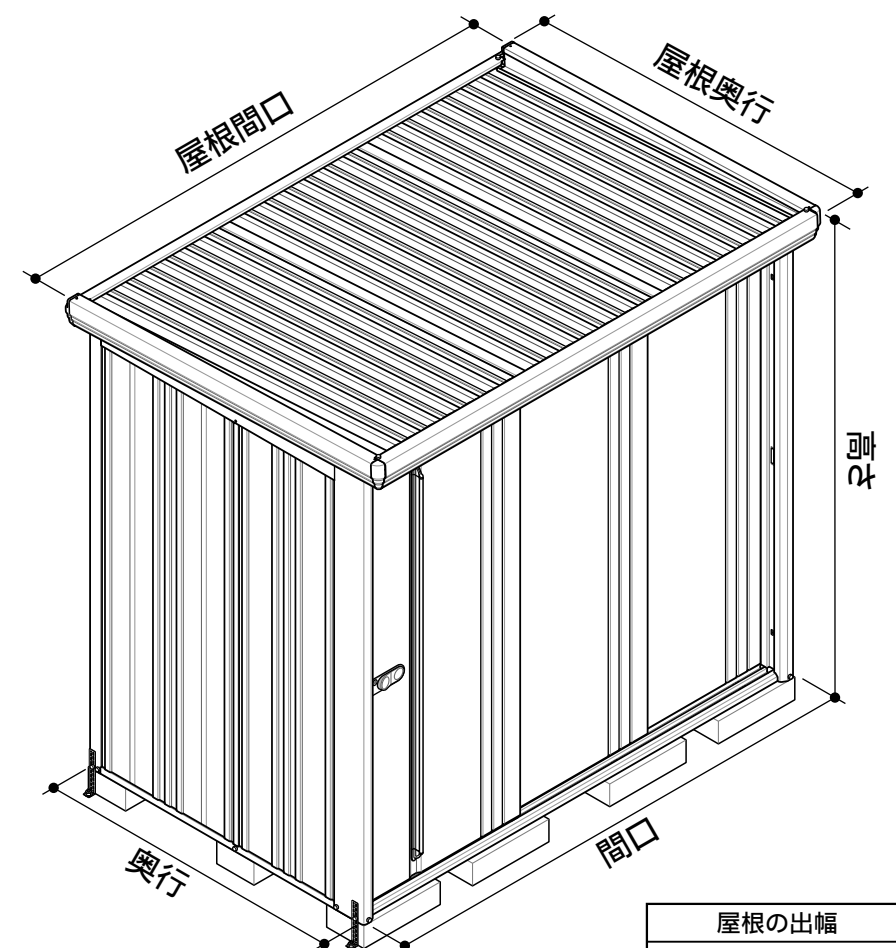
水平器



プラスドライバー



ボックスドライバー
10mm (M6)



屋根の出幅

前面へ:	115mm
後面へ:	90mm
側面へ:片側	40mm ずつ

この組立説明書は2214型を例に説明しています。

機種別サイズ表 (単位:mm)

項目 機種	間口	奥行	高さ	屋根間口	屋根奥行	項目 機種	間口	奥行	高さ	屋根間口	屋根奥行
1812型	1832	1222	2110 (共通)	1912	1427	2219Y型	2200	1922	2110 (共通)	2280	2127
2214型	2200	1406		2280	1611	2515型	2532	1590		2612	1795
2215型	2200	1590		2280	1795	2519型	2532	1922		2612	2127

- ・お買上げありがとうございました。
この説明書をよくお読みのうえ組み立ててください。
- ・特に＜安全のために＞をよくご覧ください。
- ・施工業者様へ：組立完成后、この説明書は必ずお客様にお渡しください。
- ・強風時などに備え、転倒予防措置には十分なご配慮をお願いします。
特に安全が確認できない屋上等、高所への設置はお避けください。
- ・鍵は前扉の裏に貼り付けてあります。

A

[EH-24-NTKA-50-00]

TAKUBO 株式会社 田窪工業所

[1] 組立前に必ずお読みください



注意

- ここに記載してある内容は、タクボ物置 を安全にご使用いただく上で、重要なことを述べています。必ずお読みになり、正しくお使いいただくようお願い申し上げます。
- ここに記載してある内容をお守りにならなかった場合、お客様がケガをするなどの重大な人的損害を負う危険、また、商品の破損などの物的損害が発生する恐れがあります。

製品の仕様について

- 設置現場で部材を組み立てる製品の特性上、多少の隙間（光が漏れる程度）が生じます。
- 製品の構造上、完全な防水仕様ではありません。部材の隙間などから水が入る可能性があります。
- 上記2点の問題により、ほこりや虫、ネズミ等の小動物が入り込んだり、粉雪が吹き込む場合がありますのでご注意ください。
- 運搬等により塗装面に傷が付くことがあります。軽微な傷は補修塗料による対応となります。

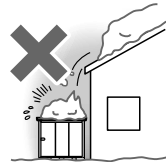
設置場所について

家屋の屋根から大量の雪や雨水が落ちる場所への設置は避けてください。破損や変形、雨漏りの原因となります。

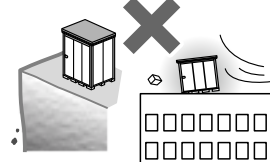
屋上などの高所や崖の淵などの高低差のある場所への設置は避けてください。強風による転倒・落下の恐れがあります。

マンションのベランダなど、避難通路を塞ぐような設置や手すり乗り越えによる子供の転落や物の落下の恐れがある場所への設置はしないでください。

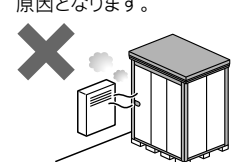
強い腐食性ガスが当たる給湯器排気口付近への設置は避けてください。排気ガスが塗装を劣化させ、サビ・変色の原因となります。



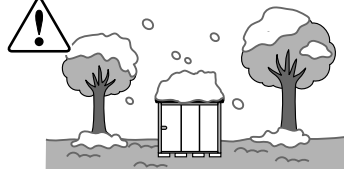
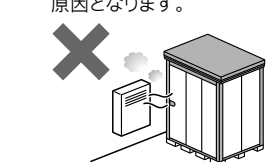
- 木の下付近は落ち葉等で雨樋が詰まり、雨漏りや腐食の原因となることがあります。
- 芝生の上や整地・転圧がされていない場所は後日たてつけが悪くなることがあります。
- 隣地境界線付近（雨水の排水・跳ね返り、落雪、日照の妨げ等に対する近隣への配慮が必要です）



- 地面が土等の場所は湿気の影響を受けやすく、結露・カビの発生原因となることがあります。
- 地面が凍結・凍上する場所は、扉のたてつけが悪くなることがあります。
- 薬品・融雪剤等の影響を受ける場所では、物置本体の変色や腐食の原因となることがあります。



- 塩害を受ける場所（海沿いの地域等）は、物置本体の腐食の原因となることがあります。定期的な水洗いを推奨します。
- 建物に隣接する時は、屋根の出幅・組立施工に必要な所定のスペースを確保してください。



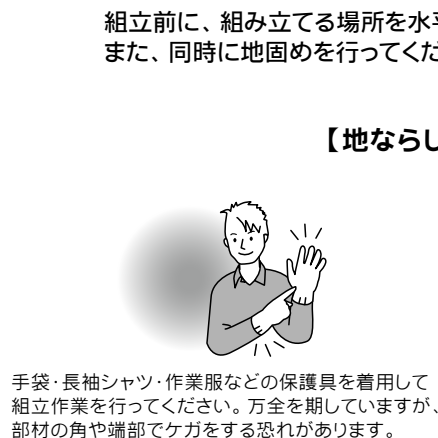
組立施工上のご注意

この組立説明書および保証書を、よくお読みください。また、組立完了後は組立説明書と保証書を、お客様が大切に保管してください。

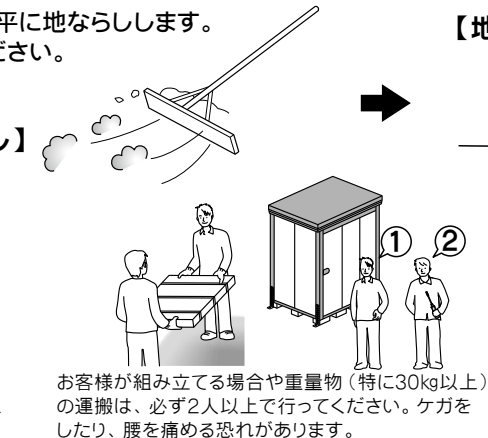
組立前に、組み立てる場所を水平に地ならしします。また、同時に地固めを行ってください。

【地ならし】

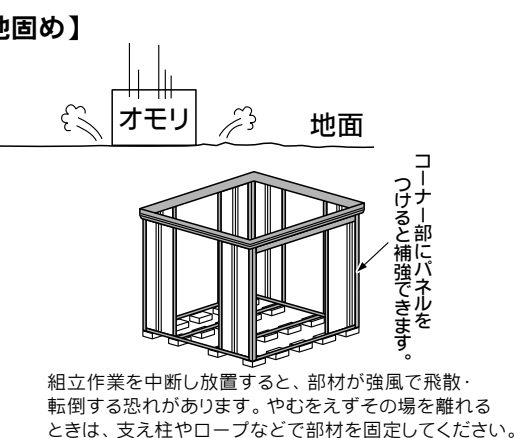
【地固め】



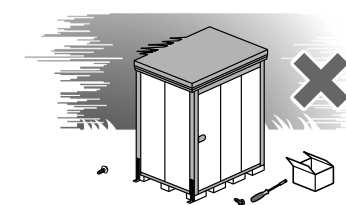
手袋・長袖シャツ・作業服などの保護具を着用して組立作業を行ってください。万全を期していますが、部材の角や端部でケガをする恐れがあります。



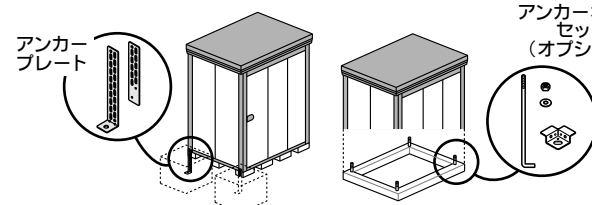
お客様が組み立てる場合や重量物（特に30kg以上）の運搬は、必ず2人以上で行ってください。ケガをしたり、腰を痛める恐れがあります。



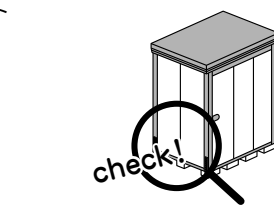
組立作業を中断し放置すると、部材が強風で飛散・転倒する恐れがあります。やむをえずその場を離れるときは、支え柱やロープなどで部材を固定してください。



風の強い日は、施工を避けてください。部材が転倒して破損したり、飛ばされた部品でケガをする恐れもあります。



転倒予防のために、所定の基打設礎作業を必ず行ってください。台風などの強風時に転倒し、重大なケガや収納物に損害を与える恐れがあります。



組立完了後、ボルトのゆるみや金具類の付け忘れがないか、確認してください。正しく組み立てられていないと、所定の強度が確保できなくなります。

基礎について

- 安全のため、基礎は当社の規定した仕様をお守りください。また、基礎穴は本書の基礎図で示した寸法以上にしてください。
- 軟弱地盤や寒冷地で凍上の恐れがある地域に設置する場合には、現地の実情に合わせて基礎の施工方法を検討ください。

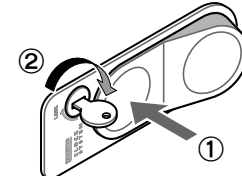
21. 完成・2ロック錠のご使用方法

- 扉の錠は2本ありますが、**本錠**と**合錠**に分けて、紛失しないように保管してください。（錠をかけたまま、なくされるお客様が多くおられます。）
- もし、2本の内1本をなくされた場合は、お早めに購入された販売店までお問い合わせください。
- 合錠を作製するには、錠に刻印してある番号が必要です。本書の裏表紙の記入欄に必ず錠番号を控えておいてください。なお、錠は有償です。



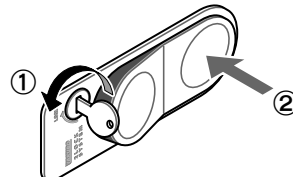
錠を使って施錠する場合

● 施錠



- 「LOCK」ボタンを押します。
- 錠を右に90°回します。

● 解錠



- 錠を左に90°回します。
- 「OPEN」ボタンを押します。



注意

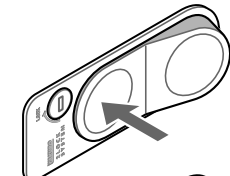


施錠した状態で「OPEN」ボタンを強く押さないでください。

錠を使わず仮ロックする場合

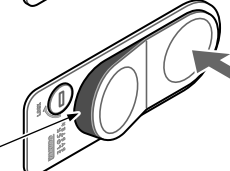
● 仮ロック

「LOCK」ボタンを押します。



● 解除

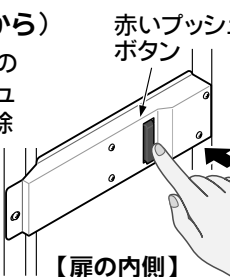
「OPEN」ボタンを押します。解除のときは「赤色」が見えます。



仮ロックした状態で、扉を閉じないでください。

● 解除（物置内側から）

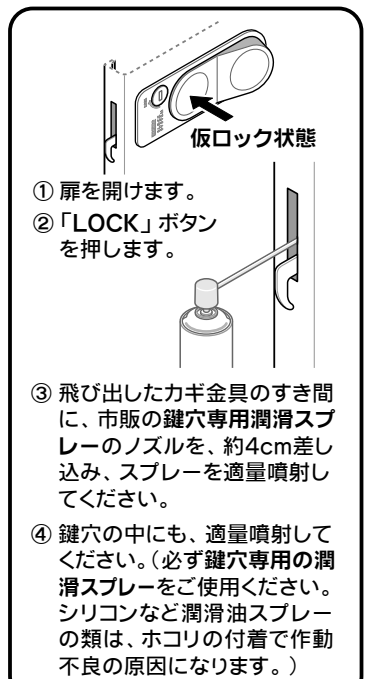
仮ロックの場合、扉の内側から赤いプッシュボタンを押すと、解除できます。



【扉の内側】

2ロック錠のメンテナンス

末永くお使いいただくために、定期的なお手入れをお願いします。



- 扉を開けます。
- 「LOCK」ボタンを押します。

飛び出したカギ金具のすき間に、市販の錠穴専用潤滑スプレーのノズルを、約4cm差し込み、スプレーを適量噴射してください。

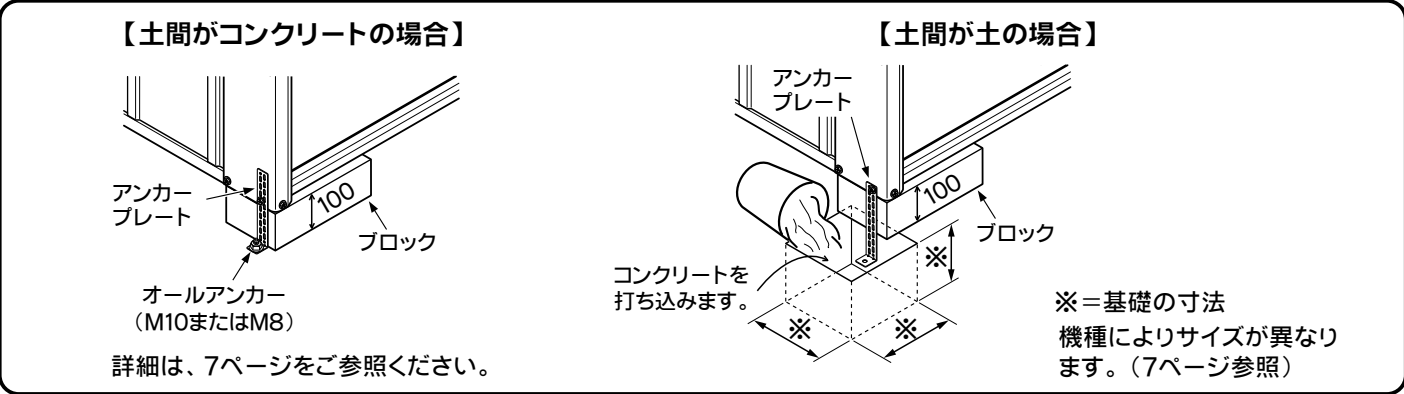
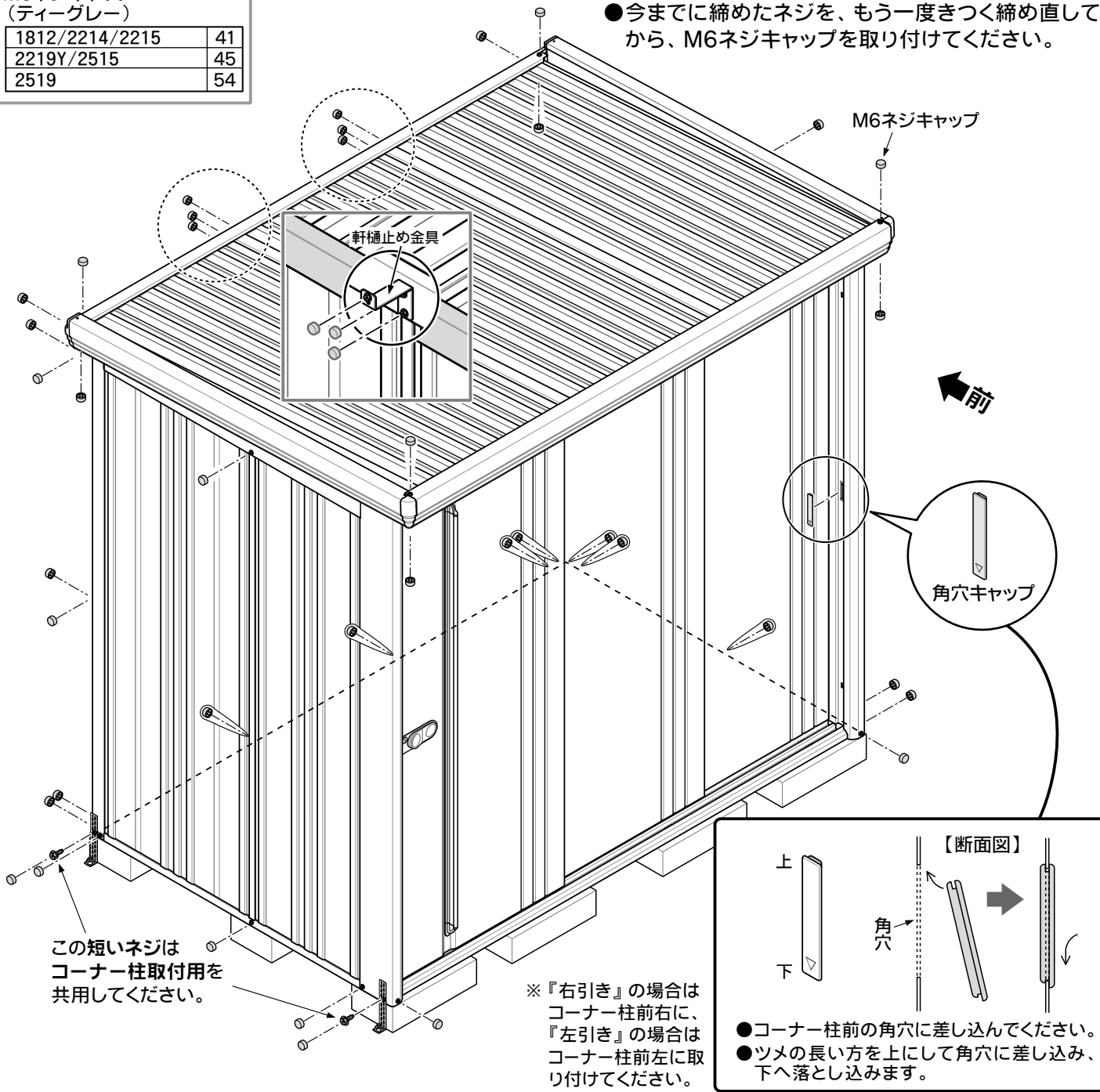
錠穴の中にも、適量噴射してください。（必ず錠穴専用の潤滑スプレーをご使用ください。シリコンなど潤滑油スプレーの類は、ホコリの付着で作動不良の原因になります。）

20. アンカープレート・角穴キャップ・M6ネジキャップ の取付

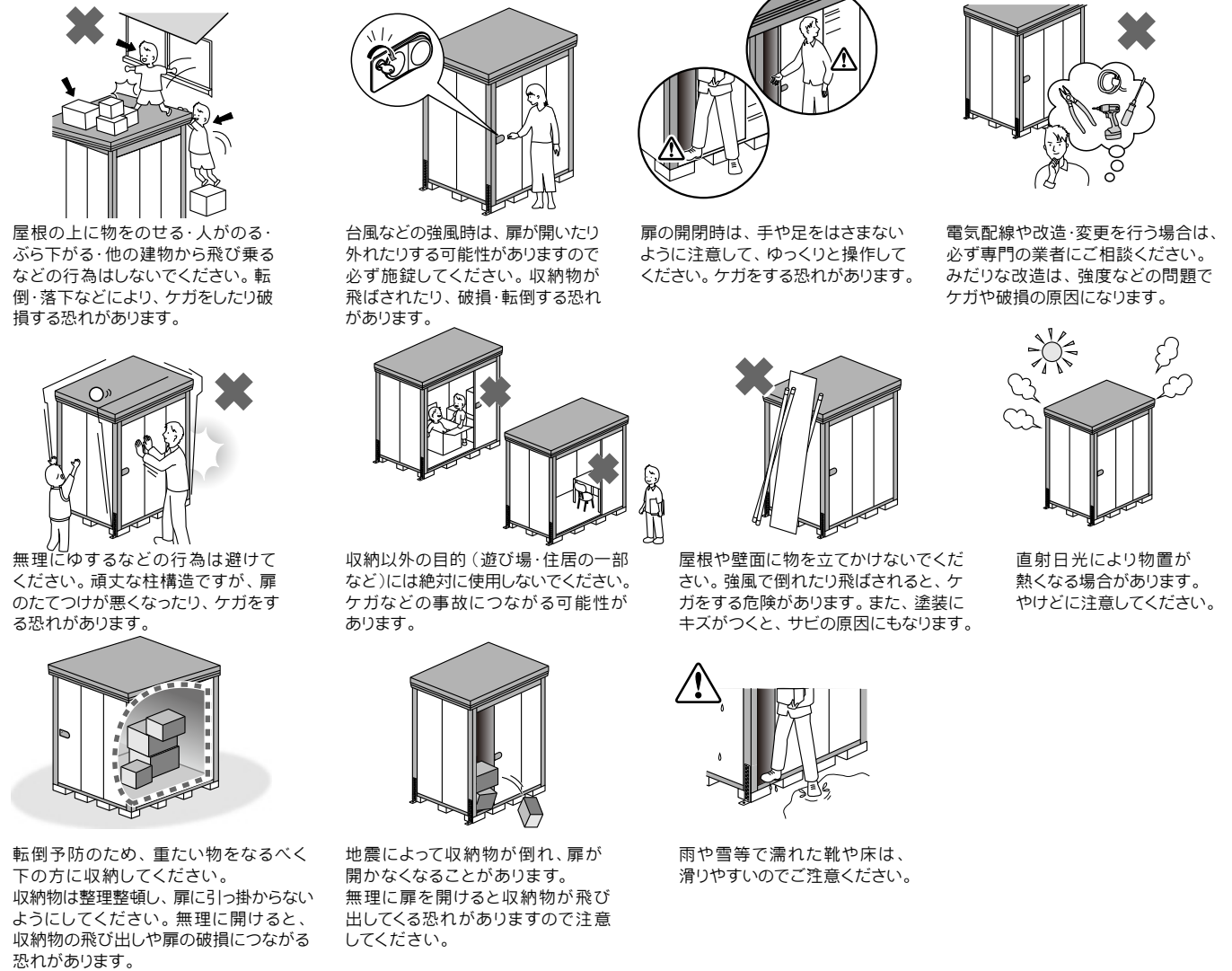
使用部品	
アンカープレート	4
角穴キャップ	1
(ティーグレー)	
M6ネジキャップ	
(ティーグレー)	
1812/2214/2215	41
2219Y/2515	45
2519	54

- ・転倒予防のため、必ず転倒予防措置を行ってください。
- ・アンカープレートは、左右コーナー柱の下側にあるネジを共用して取り付けてください。
- ・オールアンカー（M10またはM8）は、市販品をご使用ください。
- ・基礎図は7ページをご参照ください。

●今までに締めたネジを、もう一度きつく締め直してから、M6ネジキャップを取り付けてください。



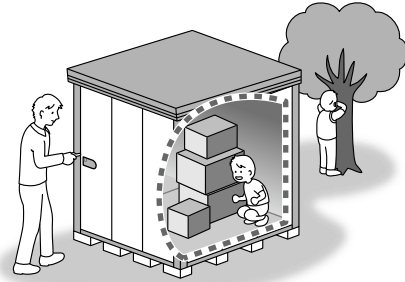
使用上のご注意



！ 天気予報などで災害が予想される場合

台風等の暴風雨や豪雪などにより、製品の機能を超える事態が発生すると扉や本体が飛ばされるような事態になったり、庫内に雨水や雪が侵入することがあります。災害が予想される場合には、本施錠の上、ロープ・ワイヤでしばって補強する等、事前に収納物を移動させるなどの対策をお願いします。

！ 閉じ込め事故を無くすために



■仮ロック・施錠をする前には、必ず庫内に人がいないか確かめましょう。

- ① 庫内を確認する。
- ② 仮ロックする。
- ③ 仮ロックされているか確認する。（扉を開く方向へ引いてみます。）
- ④ 施錠する。

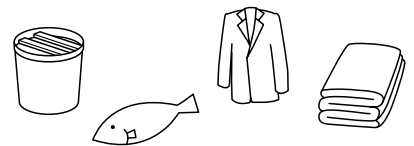
※仮ロック・施錠については、P23をご参照ください。

！ 収納物にご注意ください。

化学肥料や農薬、塩分が出る可能性のあるものは、サビ発生の原因となりますので、必ず受け皿や敷物をお使いください。
タイヤは、よく水洗いしてから収納してください。融雪剤の塩素がサビの原因になります。

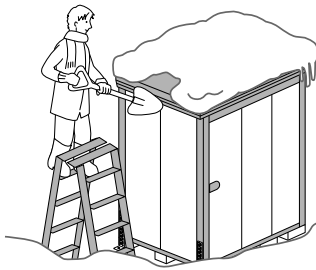
- 1) 熱や湿気を嫌う物を収納する場合は、段ボール箱やビニール袋に入れて収納してください。
- 2) 家電製品等は湿度やほこりの影響を受けやすいので十分な養生をして収納してください。
- 3) 食品など、虫や小動物の侵入で被害をこうむる恐れのある物は、収納しないでください。
- 4) 高温・多湿・結露などにより、変色・変形を生じる恐れのある物は、収納を避けてください。
- 5) 揮発性の可燃物は、収納しないでください。（ガソリン・シンナー・塗料・スプレー類など）
- 6) 重い物の収納は、床や棚の耐荷重をお確かめください。

■ 収納できない物



つけもの・なまもの・装飾用人形・湿気を嫌う物（衣服・ふとん類）・精密機器・貴重品・生き物 など

！ 積雪時のご注意

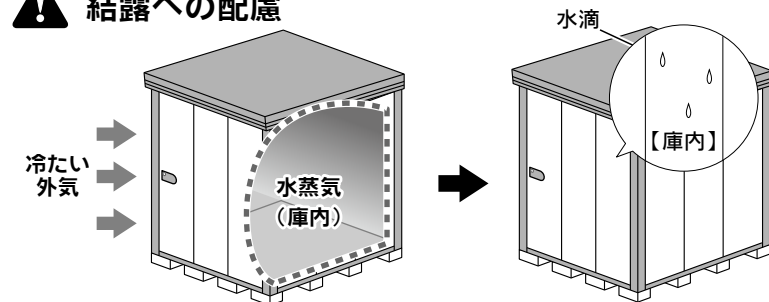


- 1) 雪下ろし・雪底落としは早めに行ってください。
※ 降雪時は、安全のため下記の最大積雪基準を目安に雪下ろしをしてください。
□ 一般地用…1200N/㎡(120kgf/㎡)… 60cm以下
□ 多雪地用…3000N/㎡(300kgf/㎡)…100cm以下
 - 2) 雪下ろしを行う際は、決して屋根には上がらないで作業してください。
 - 3) 物置の周囲の雪も、早めに取り除いてください。
※ 許容耐荷重を超えた積雪の場合は、人的被害や収納物の破損などの事故につながる可能性がありますので、ご注意ください。
 - 4) 雪下ろしのために水を掛けしないでください。水を含んだ雪は重くなり、本体破損やすがもれの原因になります。
 - 5) すがもれ現象を防ぐために、早めに雪下ろしや軒樋付近の氷を取り除いてください。濡れて困るような収納物は、ビニール等で覆ってください。
- 注) 寒冷地・高地では、凍結によりたて樋が割れる場合があります。冬季にはたて樋をはずしておくことをお勧めします。

すがもれ現象について

積雪量が多い地域で寒暖差が大きい時に、屋根に雪や氷が留まることで溶けた水が行き場を無くし、屋根のすき間から庫内に水漏れる現象のことです。

！ 結露への配慮

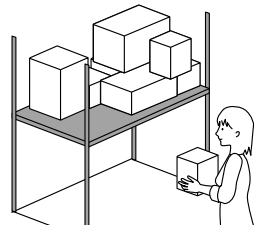


結露が発生した場合は水分を拭き取ってください。また、換気を行うなどをして外気との温度差を少なくすることで結露の発生を軽減できます。

結露について

空気の温度が高い状態から低い状態に変化したときに空気の中にある水蒸気が水滴となり物体の表面に付着する現象のことです。

！ 棚・床を使用する時のご注意

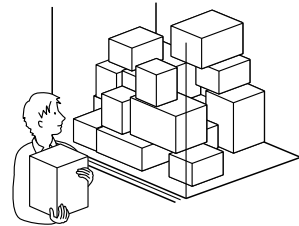


【棚の許容耐荷重】
2000N/㎡ (200kgf/㎡)
(1平方メートルあたり200kgまで)

許容耐荷重をお守りください。
重量オーバーは変形や破損の原因となり
落下物でけがをする恐れがあります。

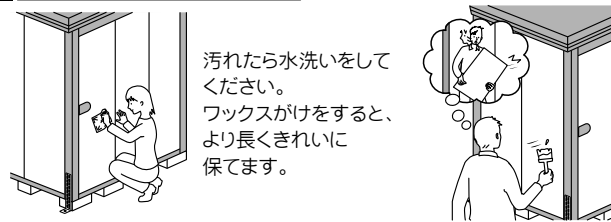
※荷物は、なるべく均等に、静かにのせるよう心がけてください。脚付の荷物は、脚の下に丈夫な板をして、収納してください。

※集中荷重・点荷重(狭い範囲に重さが掛かる状態)はさけてください。床・棚のへこみや、物置が傾く原因になります。



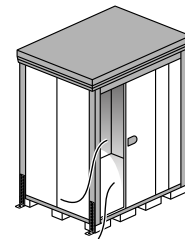
【床の許容耐荷重】
6000N/㎡ (600kgf/㎡)
(1平方メートルあたり600kgまで)

お手入れについて

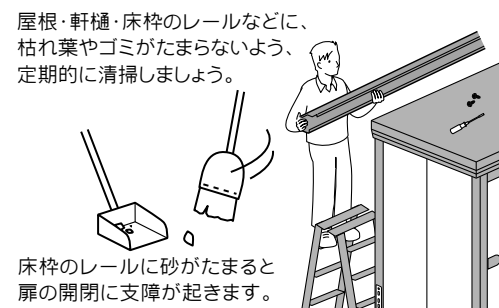


汚れたら水洗いをしてください。
ワックスをかけると、より長くきれいに保てます。

長期間ご使用になると、様々なキスができることがあります。
サビの原因になりますので、キスは早めに補修しましょう。



ときどき扉を開けて風を通し、内部の換気を行ってください。



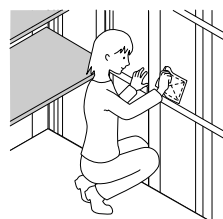
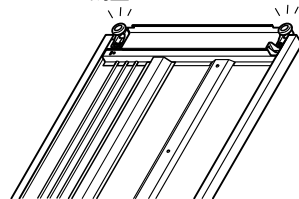
屋根・軒樋・床枠のレールなどに、枯れ葉やゴミがたまらないよう、定期的に清掃しましょう。

床枠のレールに砂がたまると扉の開閉に支障が起きます。

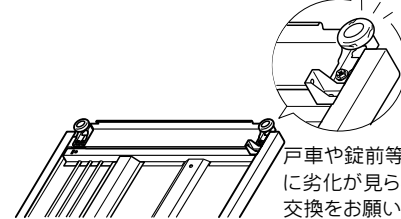
軒樋にたまったゴミを取り除くときはP16をご参照いただき、逆の手順で軒樋を取りはずしてください。

設置した後に、扉のたてつけが悪くなったときは、この説明書のP19をご参照いただき、戸車枠を正しく調整してください。

！
屋根の上にはのらないでください。ケガをする可能性があります危険です。



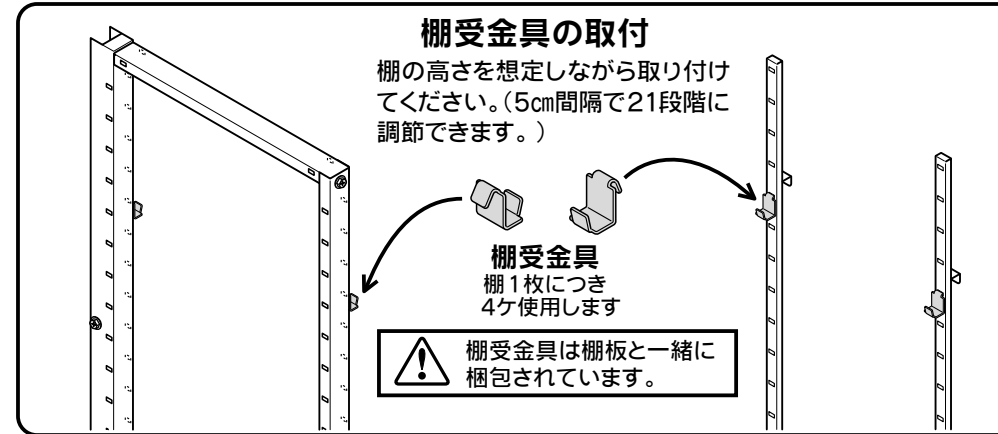
物置内部に結露が発生した場合は水分を拭き取ってください。
※結露は自然現象です。
物置の設置場所・環境によっては結露が発生する場合があります。



戸車や錠前等の可動部に劣化が見られた場合は交換をお願いします。

※修理依頼等のお問い合わせは、当社営業所または販売店へお願いします。(当社は「有償契約メンテナンス」を設定しておりません。)

19. 棚板の取付



棚受金具の取付

棚の高さを想定しながら取り付けてください。(5cm間隔で21段階に調節できます。)

棚受金具

棚1枚につき4ヶ使用します

！ 棚受金具は棚板と一緒に梱包されています。

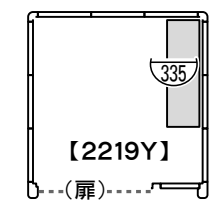
使用部品

335 棚板	2
棚受金具	8

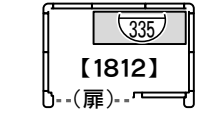
！
棚板は棚受金具にきちんと落とし込んでください。荷物の落下により、ケガなどの原因になる恐れがあります。

棚板の取付位置

棚板は左右どちら側に寄せても取り付けできます。(2219型を除く)



【2219Y】



【1812】

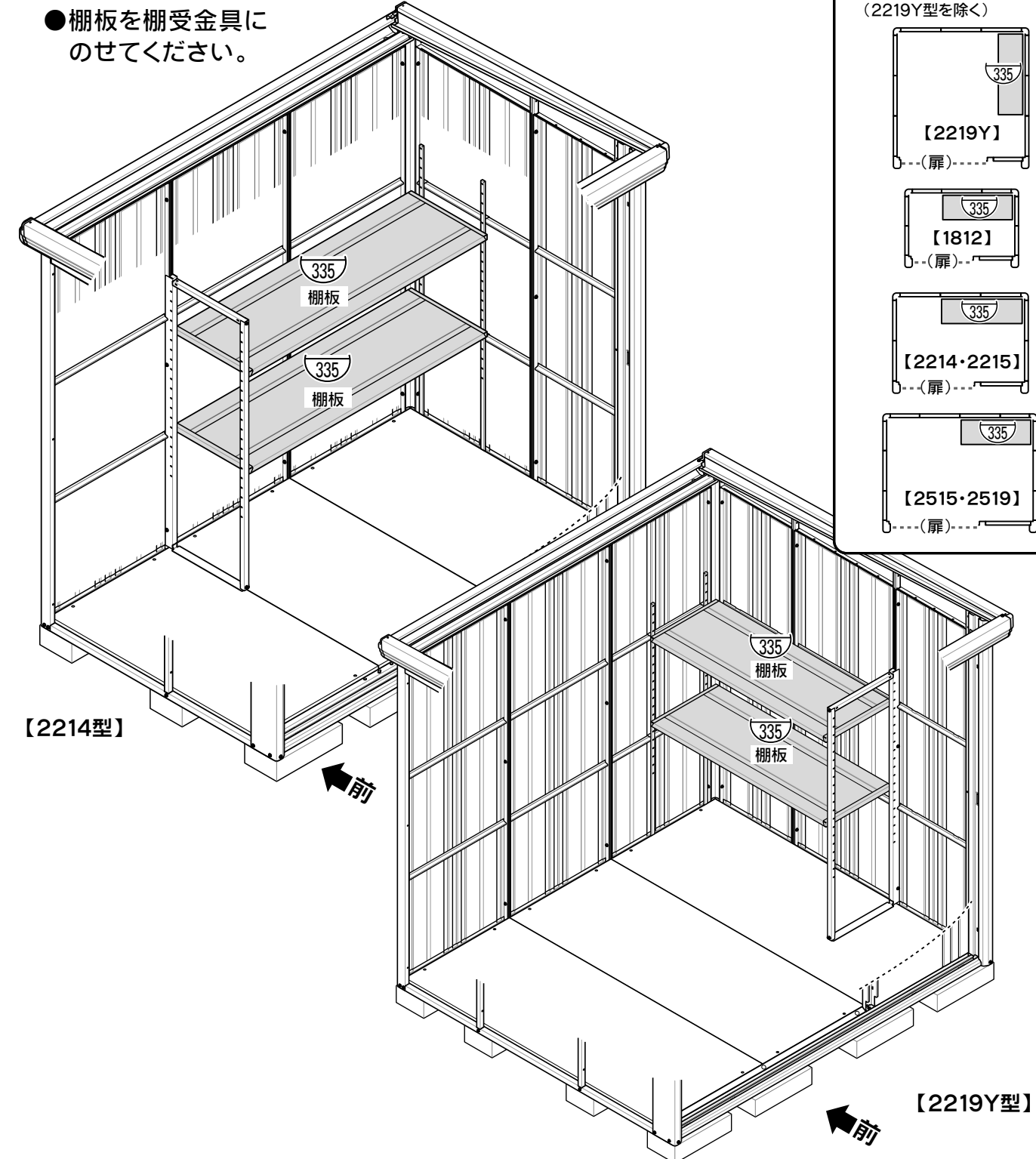


【2214・2215】



【2515・2519】

●棚板を棚受金具にのせてください。



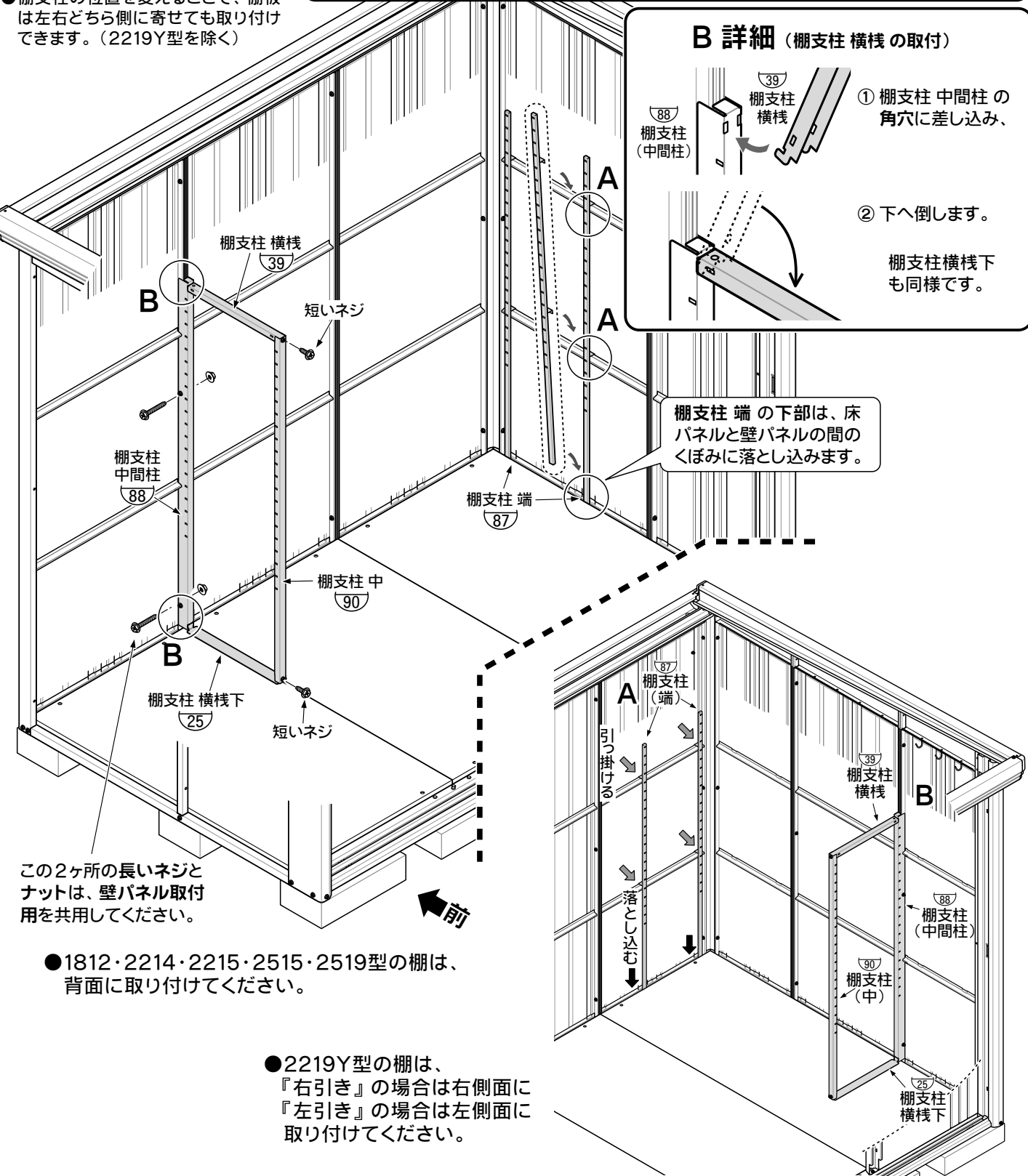
【2214型】

【2219Y型】

18. 棚支柱の組立

使用部品		
87	棚支柱 端	2
88	棚支柱 中間柱	1
39	棚支柱 横棧	1
25	棚支柱 横棧下	1
90	棚支柱 中	1
短いネジ		2
(アブセットセムS6×16棒先)		

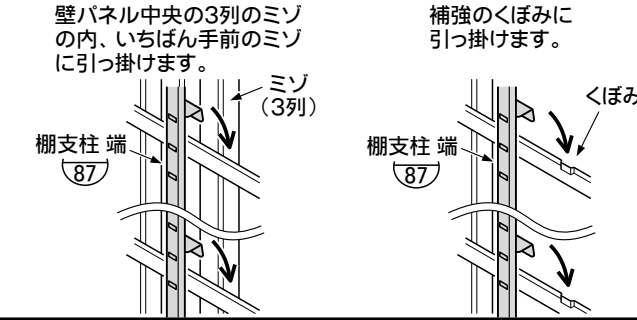
- 棚支柱は、棚板が壁パネル2枚分の幅で取り付けできるように設置してください。
- 棚支柱の位置を変えることで、棚板は左右どちら側に寄せても取り付けできます。(2219Y型を除く)



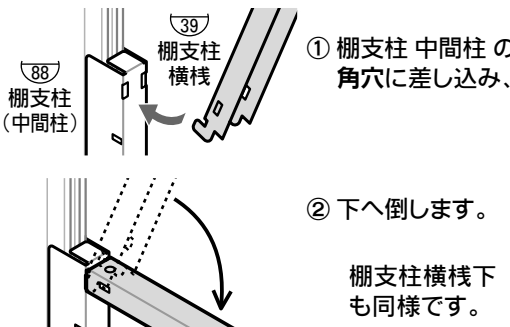
A 詳細
(棚支柱 端の取付)

棚支柱 端の2本の内、奥側は壁パネルのいちばん奥のミゾに引っ掛けます。
手前側は、壁パネルの種類によって異なりますので、右図の①・②の要領で引っ掛けてください。

① 壁パネル 大 20 の場合
【2214・2215・2219Y・2515型】
② 壁パネル 小 21 の場合
【1812・2519型】



B 詳細 (棚支柱 横棧の取付)



棚支柱 端の下部は、床パネルと壁パネルの間のくぼみに落とし込みます。

この2ヶ所の長いネジとナットは、壁パネル取付用を共用してください。

●1812・2214・2215・2515・2519型の棚は、背面に取り付けてください。

●2219Y型の棚は、『右引き』の場合は右側面に、『左引き』の場合は左側面に取り付けてください。

[2]. 部品一覧表

各部品の中にはシールを貼ったものがあります。本説明書では下半分のナンバーで表示しています。
(シールの例) TC20 240801 01

本体組立部品

名 称	部品番号	機種別個数					
		1812	2214	2215	2219Y	2515	2519
床枠 前	TC20 01	1					
	TC33 01		1	1	1		
	TC38 01					1	1
床枠 左	YR20 02	1					
	YR21 02		1				
	YR22 02			1		1	
	YR40 02				1		1
床枠 右	YR20 03	1					
	YR21 03		1				
	YR22 03			1		1	
	YR40 03				1		1
床枠 後	YR20 04	1					
	YR33 04		1	1	1		
	YR38 04					1	1
	TY20 05	1					
根太	TY33 05		1	1	2		
	TY38 05					1	2
	YX00 06	1	1	1	1	1	1
コーナー柱 前左	YX00 07	1	1	1	1	1	1
コーナー柱 前右	ND00 08	1	1	1	1	1	1
コーナー柱 後左	ND00 09	1	1	1	1	1	1
コーナー柱 後右	YR00 10	1	1	1	1	1	1
中間柱 前	YR21 11		2				
中間柱 左右	YR22 11	2		2		2	
中間柱 左右前	YR40 12				2		2
中間柱 左右後	YR40 13				2		2
中間柱 後	YR00 14	2	2	2	2	3	3
後上枠	ND20 S15	1					
	ND33 S15		1	1	1		
	ND38 S15					1	1
	YR20 16	1					
母屋	YR33 16		1	1	2		
	YR38 16					1	2
	YD20 17	1					
左化粧板	YD21 17		1				
	YD22 17			1		1	
	YD40 17				1		1
	YD20 18	1					
右化粧板	YD21 18		1				
	YD22 18			1		1	
	YD40 18				1		1

名 称	部品番号	機種別個数					
		1812	2214	2215	2219Y	2515	2519
前上枠	ND20 19	1					
	ND33 19		1	1	1		
	ND38 19					1	1
壁パネル 大	YD00 20	1	5	7	5	6	4
壁パネル 小	YR00 21	6	2		4	2	6
前壁パネル	YR20 24	1					
	YR33 24		1	1	1		
	YR38 24					1	1
前化粧板	YD20 25	1					
	YD33 25		1	1	1		
	YD38 25					1	1
	YD33 S26						
軒樋	YD20 S26	1					
	YD33 S26		1	1	1		
	YD38 S26					1	1
屋根パネル	ND20 27	2					
	ND21 27		3				
	ND22 27			3		3	
	ND40 27				3		3
屋根パネル 小	ND20 28	2					
	ND27 28					2	
	ND46 28						2
	YR20 29	1					
床パネル 中央	YR30 29		1				
	YR33 29			1		2	
	YR40 29				1		2
	YR20 30	2					
床パネル 端	YR21 30		2				
	YR22 30			2			
	YR27 30					2	
	YR40 30				2		
	YR46 30						2
前扉	HX20 32	1					
	HX33 32		1				
	HX38 32					1	
	KX20 32	1					
	KX33 32			1	1		
後扉	KX38 32						1
	KM20 33	1					
	KM33 33		1	1	1		
	KM38 33					1	1

本体組立部品 (つづき)

名 称	部品 番号	機種別個数					
		1812	2214	2215	2219Y	2515	2519
上部カバー	ND20 34	1					
	ND33 34		1	1	1		
	ND38 34					1	1
棚板	TY20 335	2			2	2	2
	TY33 335		2	2			
棚支柱 (端)	TY00 87	2	2	2	2	2	2
棚支柱 (中間端)	TY00 88	1	1	1	1	1	1
棚支柱 横棧	TY00 39	1	1	1	1	1	1
棚支柱 横棧下	U09N 25	1	1	1	1	1	1

名 称	部品 番号	機種別個数					
		1812	2214	2215	2219Y	2515	2519
棚支柱 (中)	TY00 90	1	1	1	1	1	1
棚受金具	※1	8	8	8	8	8	8
たて樋	※2	1	1	1	1	1	2

※1：棚受金具は棚板の梱包に入っています。
※2：たて樋 (ℓ=1930mm) 1本はコーナー柱の梱包に入っています。
2本の場合は、1セット (金具入り) が単独梱包になっています。

組立ネジ類 部品箱に入っています。《一部、たて樋の梱包にも入っています。》

名 称	短いネジ (アブセットセムス M6X16棒先)	長いネジ (アブセットセムス M6X35棒先)	ナット (フランジNTM6ツバ大 セレート無)	段付ネジ (フランジ段付ボルト M6X25.5あらし)	穴ふさぎ キャップ 小 (ディーグレー)	M6ネジキャップ (ディーグレー)
形 状	※3	※4	※4	※4		
個 数	1812	112	24	24	11	41
	2214	112	24	24	11	41
	2215	112	24	24	11	41
	2219Y	118	40	40	11	45
	2515	120	29	29	11	45
	2519	131	47	47	9	54

※3：予備2個含まます。 ※4：予備1個含まます。

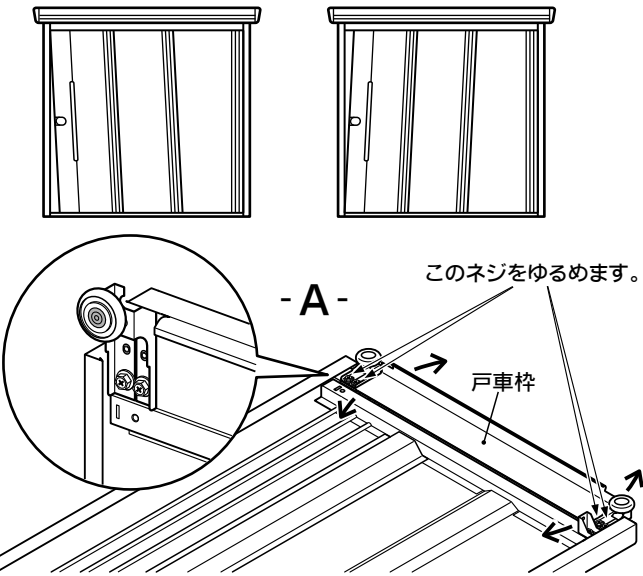
小部品類 部品箱に入っています。

1個	1個	2個	2個	2515・2519型 は3個 2個
床コーナー金具前 左	床コーナー金具前 右	床コーナー金具後	ストップ金具	軒樋止め金具
2個	4枚	1個	1袋に7個入り その内1個は 両面テープ付 3袋	4個
上部カバー固定金具	アンカープレート	前扉すきまカバー	雪 止	クッションゴム (サンドホワイト)
1個	2個	1個	2個※5	1個※6
角穴キャップ (ディーグレー)	膜付グロメット 小 (SG-16F黒)	膜付グロメット 大 (SG-24F黒)	エルボ	エルボ継ぎ樋
3個※7	3個※7	1冊		
縦樋受金具	縦樋受取付金具	組立説明書 (本書のことです)		

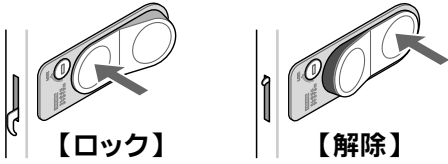
※5：2519型は4個 (4個のうち2個は、たて樋の梱包に入っています)
※6：2519型は2個 (2個のうち1個は、たて樋の梱包に入っています)
※7：2519型は6個 (6個のうち3個は、たて樋の梱包に入っています)

16. 扉のたてつけ調整

●上部カバーを取り付ける前に、必ず下記の事項を確認してください。

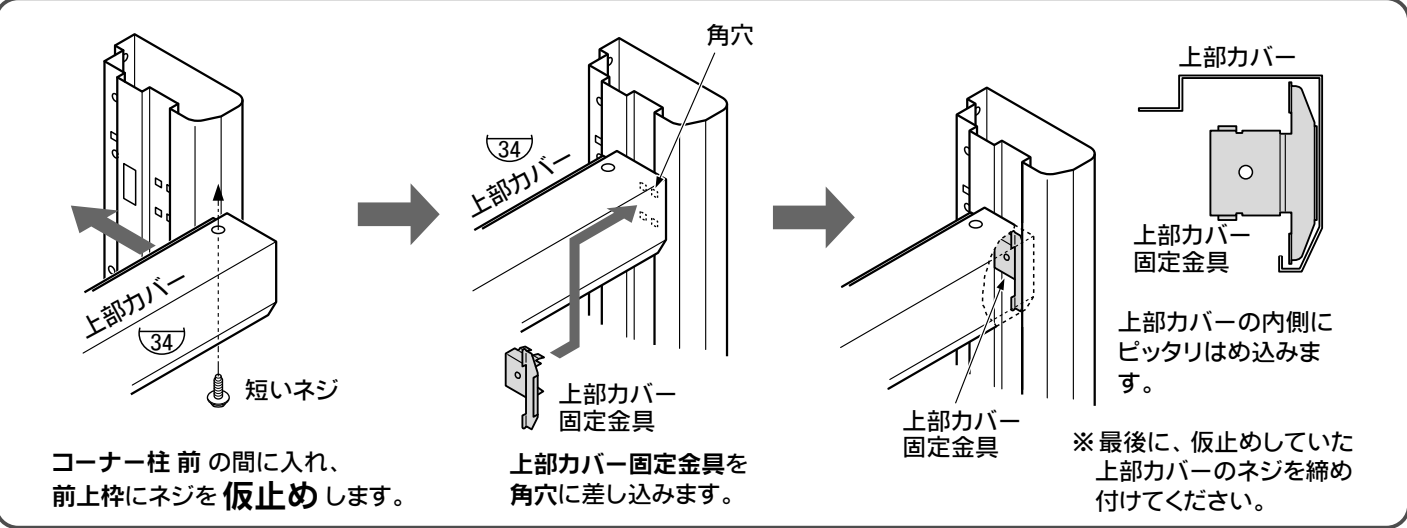
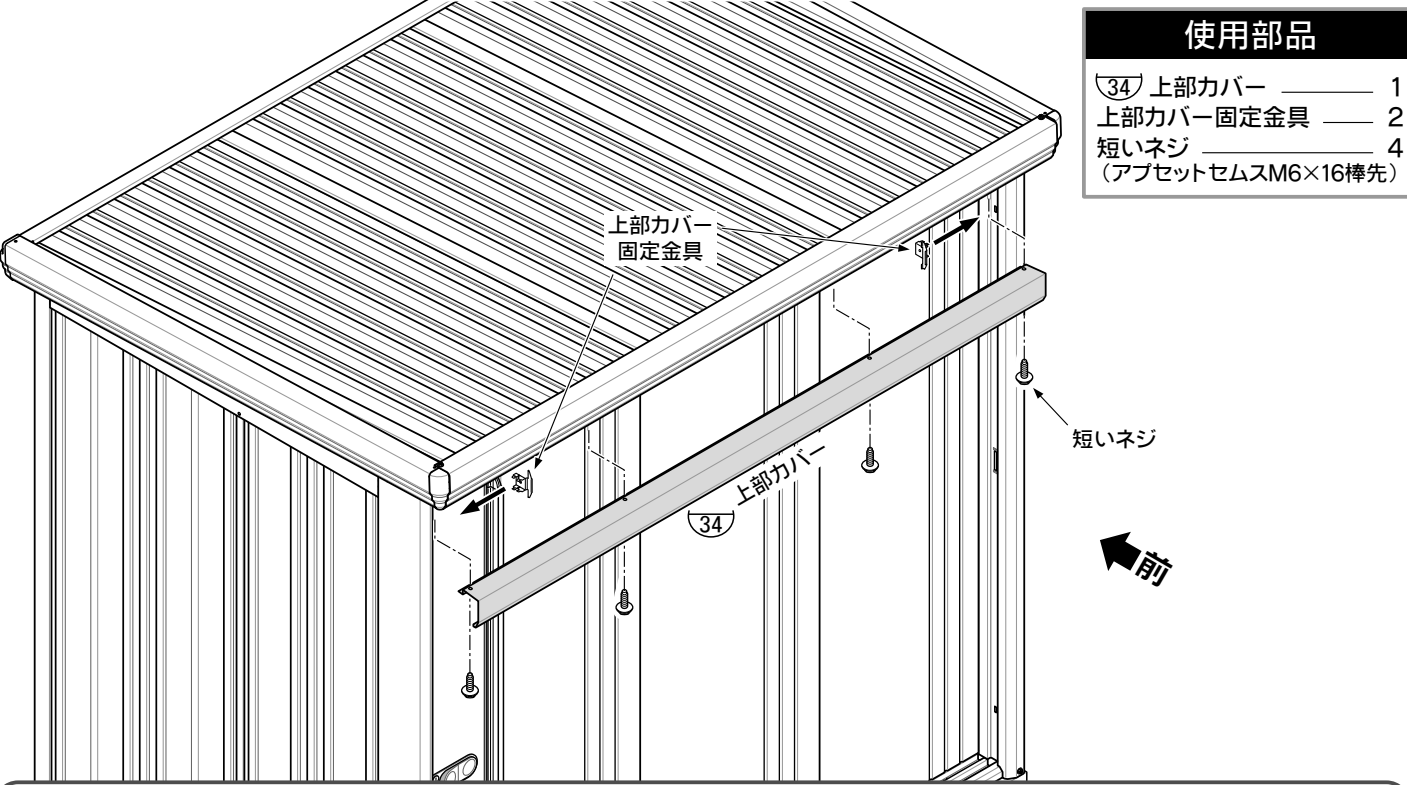


- ① 扉を端いっぱいまで開いてから、閉じます。
- ② コーナー柱前に対して、前扉が左図のように傾いていないか、また、取手のツマミを回してスムーズにロックできるか、確認してください。



- ③ 不具合があった場合には、図-A-の要領で調節してください。
● 扉をレールからおろし、戸車枠を止めているネジ (4本) をゆるめ、傾きを調節します。
確認後、このネジはきつく締め付けてください。

17. 上部カバーの組立



14. 扉の取付（『右引き』の場合）

使用部品

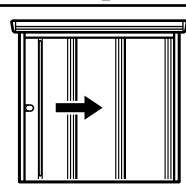
③② 前扉	1
③③ 後扉	1
ストップ金具	2
短いネジ	2
(アプセットセムスM6×16棒先)	
前扉すきまカバー	1

●左引きの場合は「15. 扉の組立・取付」をご覧ください。

●ストップ金具を、前扉裏の取手側に取り付けてください。(上下2個) ①参照

※組立の際、扉や2ロック錠などにキズが入らないようご注意ください。

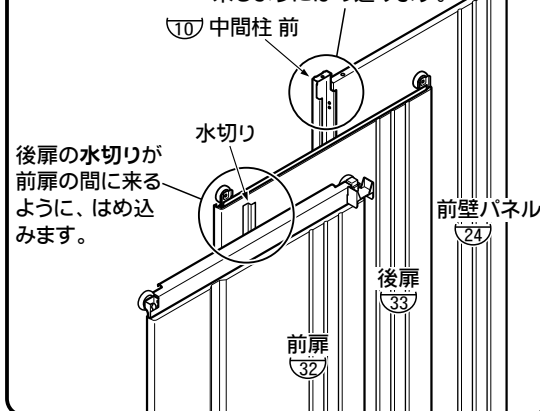
『右引き』の場合



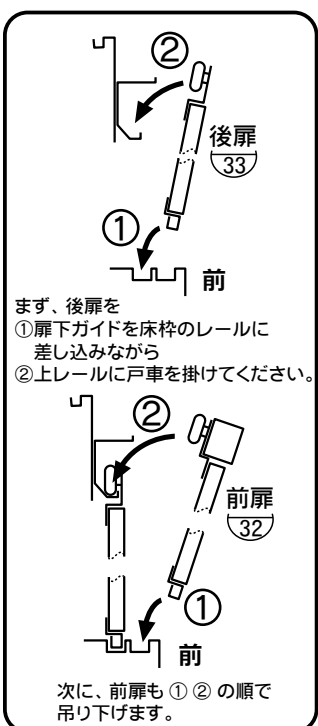
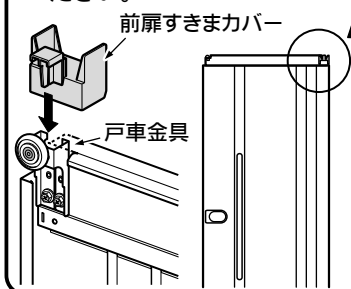
ツメを角穴に差し込んで
ネジ止めしてください。



中間柱 前が、後扉の間に
来るようにはめ込みます。



●扉を取り付ける前に、
前扉すきまカバーを、前扉の
向かって右上に差し込んでく
ださい。



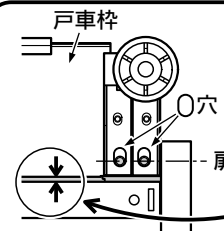
15. 扉の組立・取付（『左引き』の場合）

使用部品

③② 前扉	1
③③ 後扉	1
ストップ金具	2
短いネジ	2
(アプセットセムスM6×16棒先)	
前扉すきまカバー	1

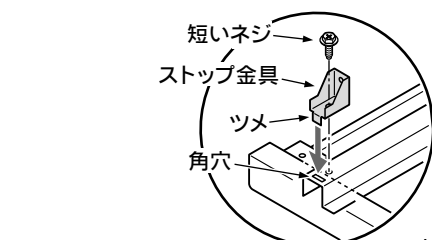
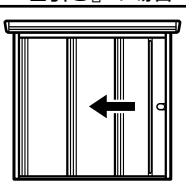
④ 戸車枠の取付方法

ネジを軽く入れた状態で、戸車枠を上によいばいまで
押し上げて、きつくしめ付けてください。(前扉・後扉とも)



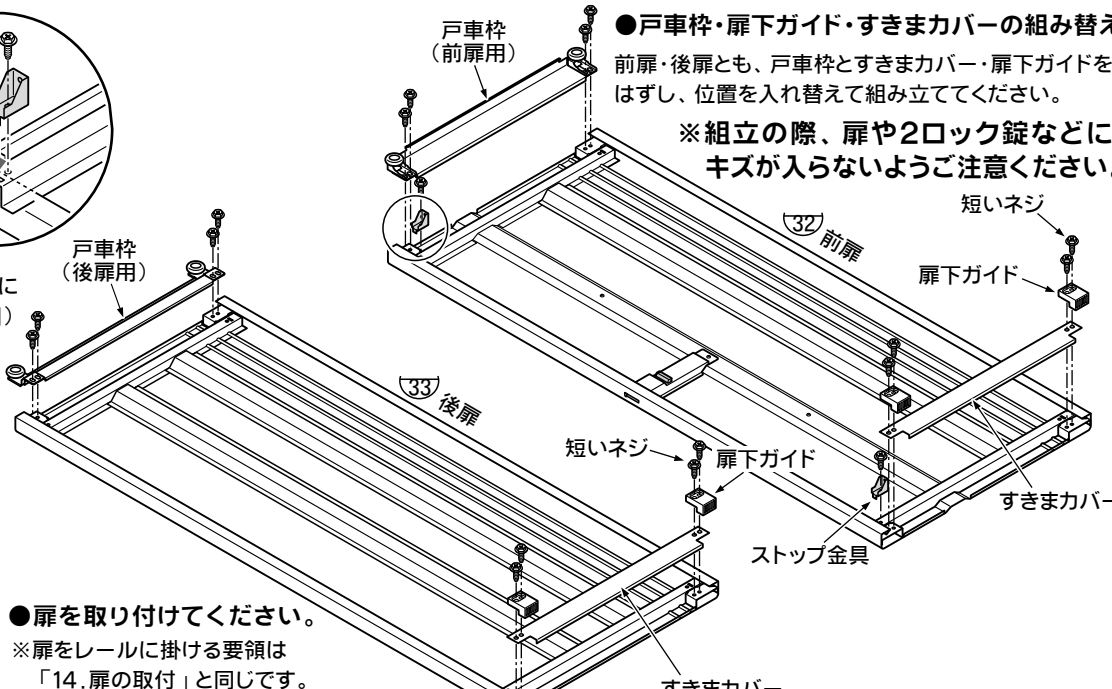
約5mmのすき間ができます。

『左引き』の場合



●ストップ金具の取付

ストップ金具を、前扉の取手側に
取り付けてください。(上下2個)
ツメを角穴に差し込んで、ネジ
止めしてください。



●扉を取り付けてください。

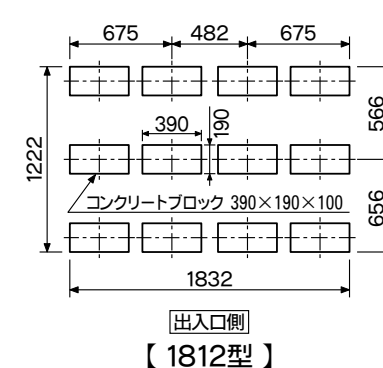
※扉をレールに掛ける要領は
「14. 扉の取付」と同じです。

[3]. 基礎図

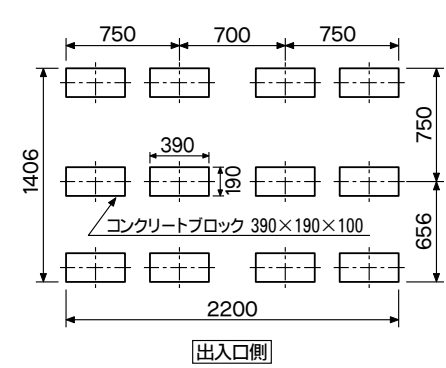
※基礎は別途施工となります。この基礎図は標準を示しています。現場の実情に合わせて、ご設計ください。

コンクリートブロック簡易基礎施工図

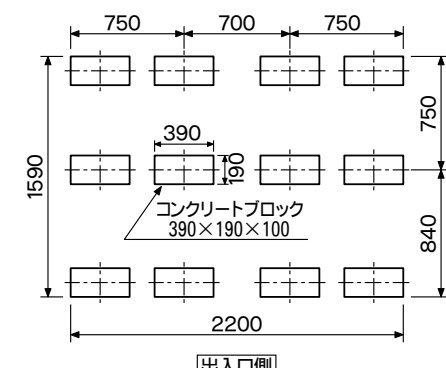
※付属のアンカープレートを使って施工します。(P22参照)



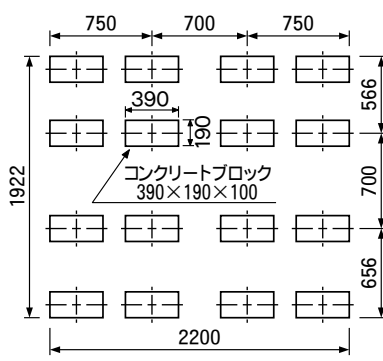
【1812型】



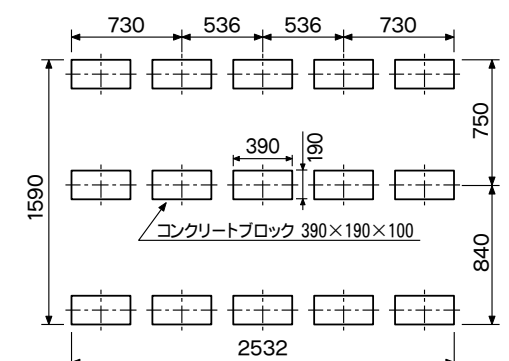
【2214型】



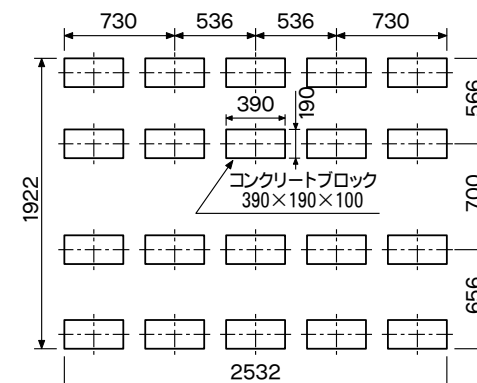
【2215型】



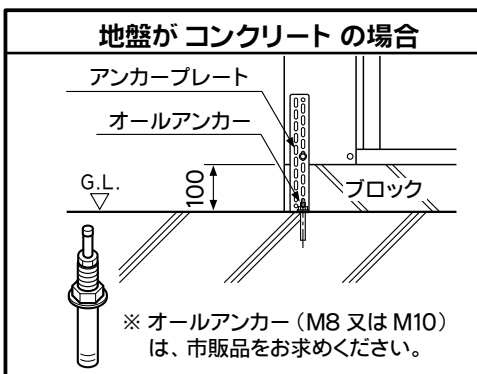
【2219Y型】



【2515型】



【2519型】



地盤が土・アスファルトの場合	
アンカープレート	ブロック
オールアンカー	基礎□
100	
基礎H	
機種	基礎□×基礎H
1812型	□250×H250
2219Y型	
2214型	□300×H300
2215型	
2515型	
2519型	

アンカープレート埋め込みの基礎寸法は
機種によって異なりますので、下の表を
ご参照ください。

[4].組立手順

【組立前に】

● 組み立てる場所を水平に地ならしをしてください。(2ページ参照) 作業が楽にでき、きれいに組み立てられます。

1. 床枠と根太の組立

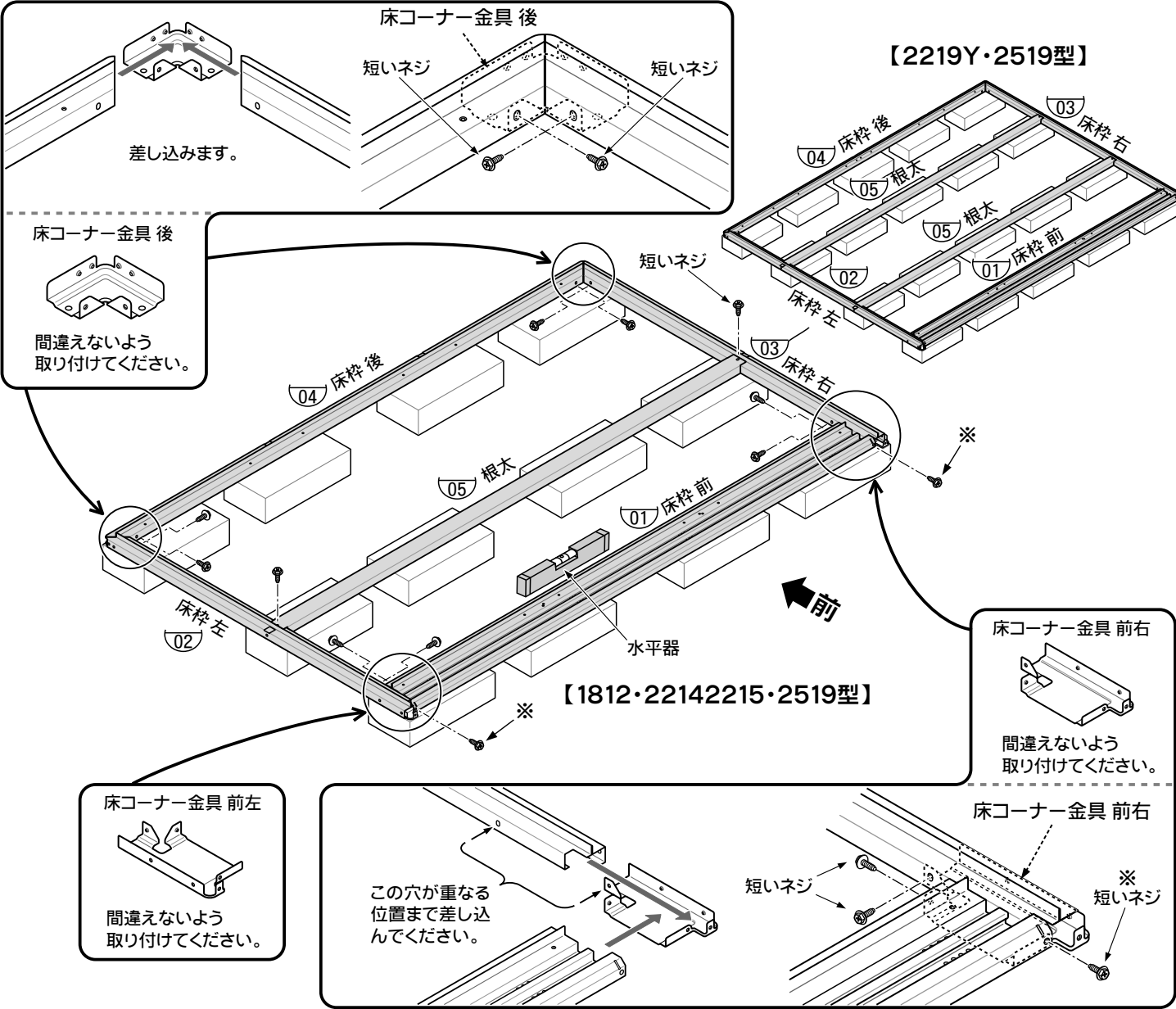
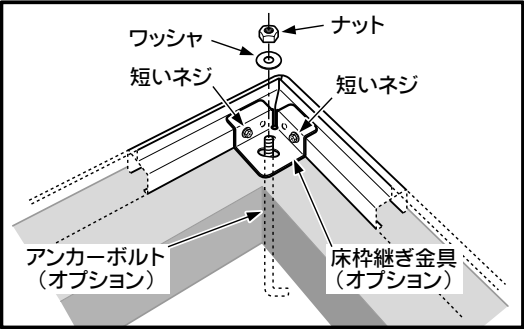
使用部品	
01 床枠 前	1
02 床枠 左	1
03 床枠 右	1
04 床枠 後	1
05 根太	
1812/2214/2215/2515	1
2219Y/2519	2
床コーナー金具 前左	1
床コーナー金具 前右	1
床コーナー金具 後	2
短いネジ (アブセットセムスM6×16棒先)	
1812/2214/2215/2515	12
2219Y/2519	14

チェック!!

必ず水平器で水平を出してから、組立にかかってください。水平が出ていないと、完成したあと扉がスムーズに開閉しません。

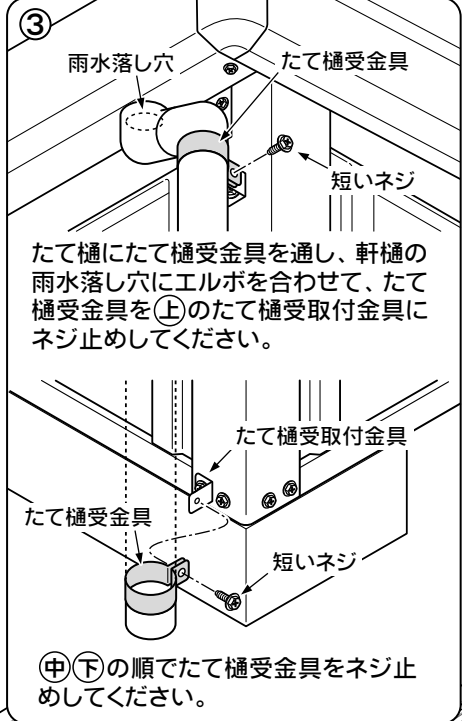
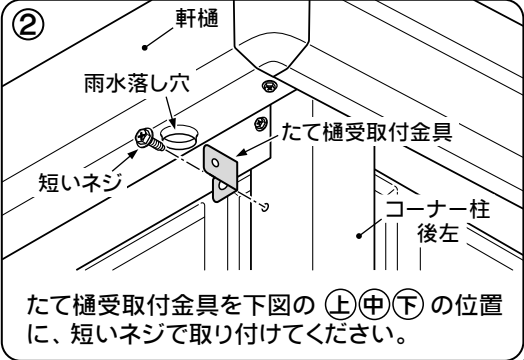
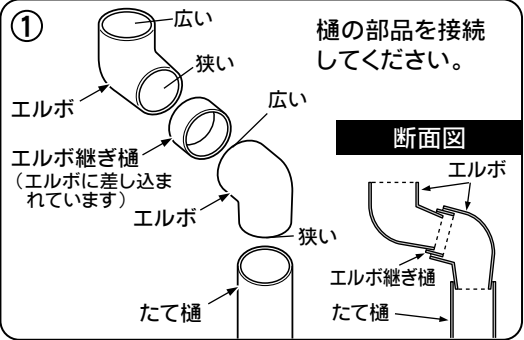
- まず、床枠を床コーナー金具で連結します。
- 床枠と床コーナー金具のネジ穴を合わせて、短いネジで仮止めしてください。
- 特に※印の2ヶ所は水平を確認した後、床枠前と床枠左・右の間にすき間ができない様に押し付けながら、きつく締め付けてください。

【アンカーボルトセット(オプション)を使用する場合】



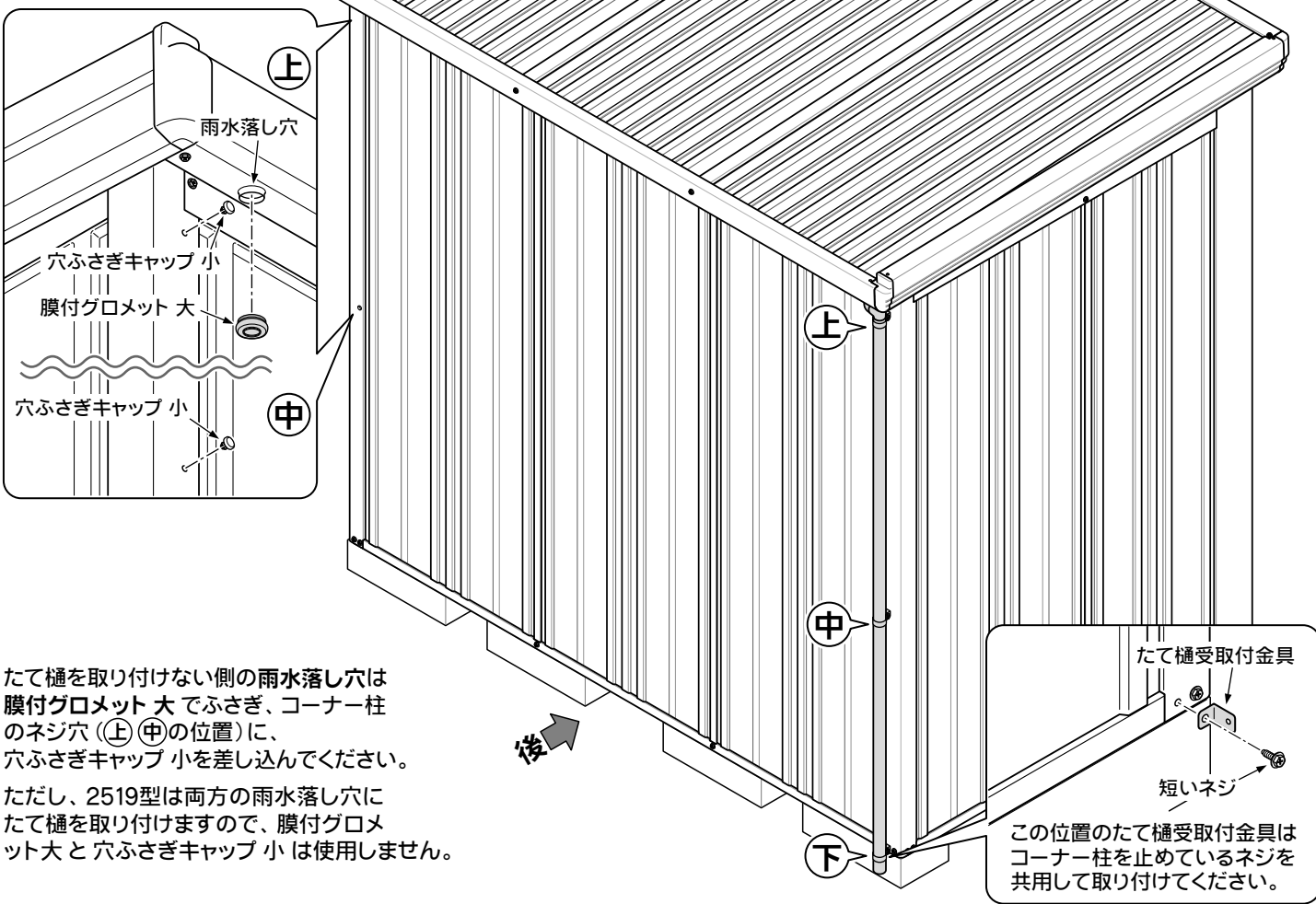
13. たて樋の組立

- たて樋は左右どちらでも取り付けできます。
- 2519型は、たて樋を2本使用します。



使用部品

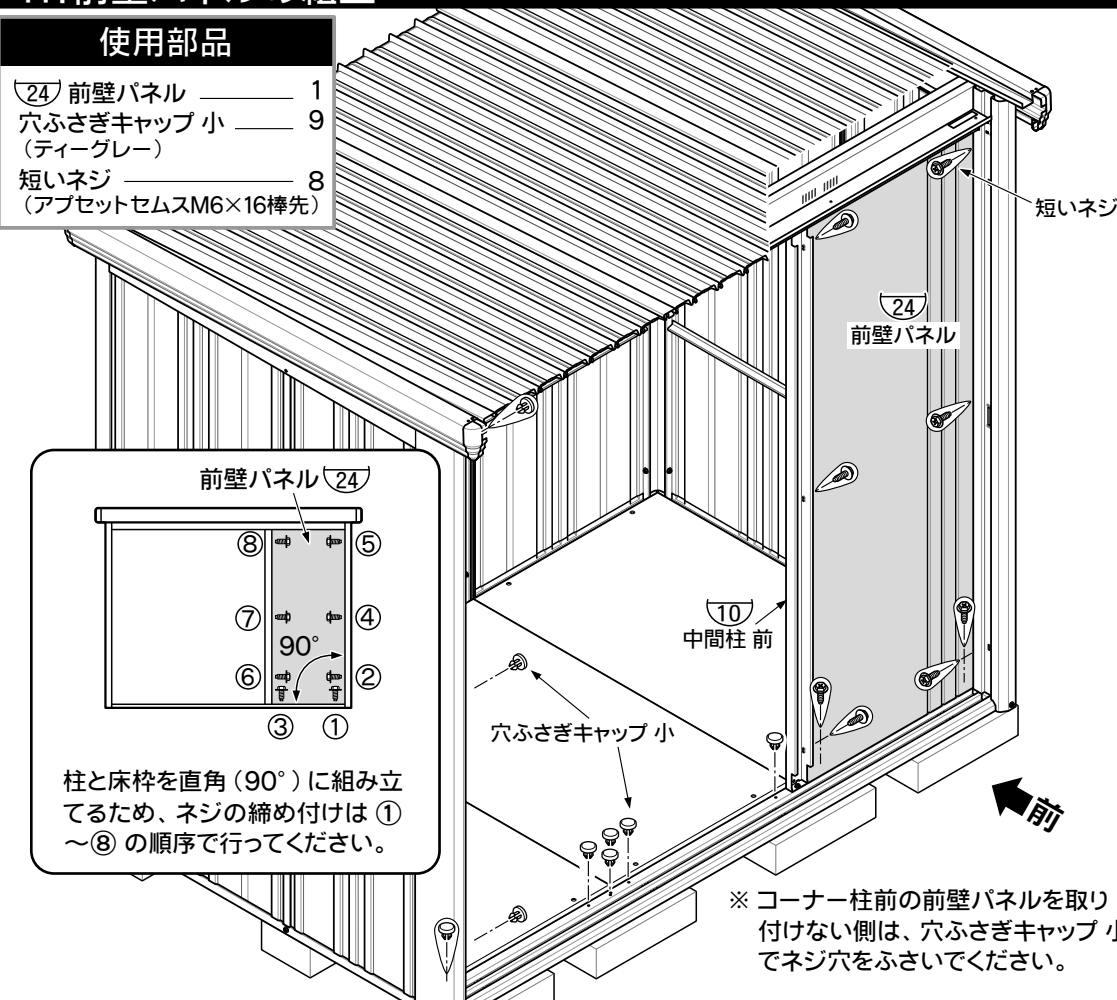
たて樋	
1812/2214/2215/2219Y/2515	1
2519	2
エルボ	
1812/2214/2215/2219Y/2515	1
2519	2
エルボ継ぎ樋	
1812/2214/2215/2219Y/2515	1
2519	2
たて樋受取付金具	
1812/2214/2215/2219Y/2515	3
2519	6
たて樋受取付金具	
1812/2214/2215/2219Y/2515	3
2519	6
短いネジ (アブセットセムスM6×16棒先)	
1812/2214/2215/2219Y/2515	5
2519	10
膜付グロメット 大 (SG-24F黒)	
1812/2214/2215/2219Y/2515	1
穴ふさぎキャップ 小 (ディグレー)	
1812/2214/2215/2219Y/2515	2



11. 前壁パネルの組立

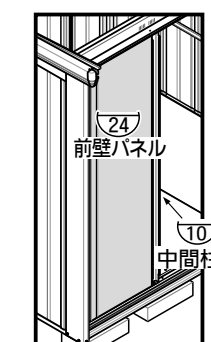
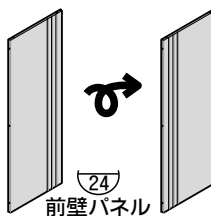
使用部品

〔24〕前壁パネル	1
穴ふさぎキャップ 小 (ディーグレー)	9
短いネジ (アブセットセムスM6×16棒先)	8



『左引き』の場合

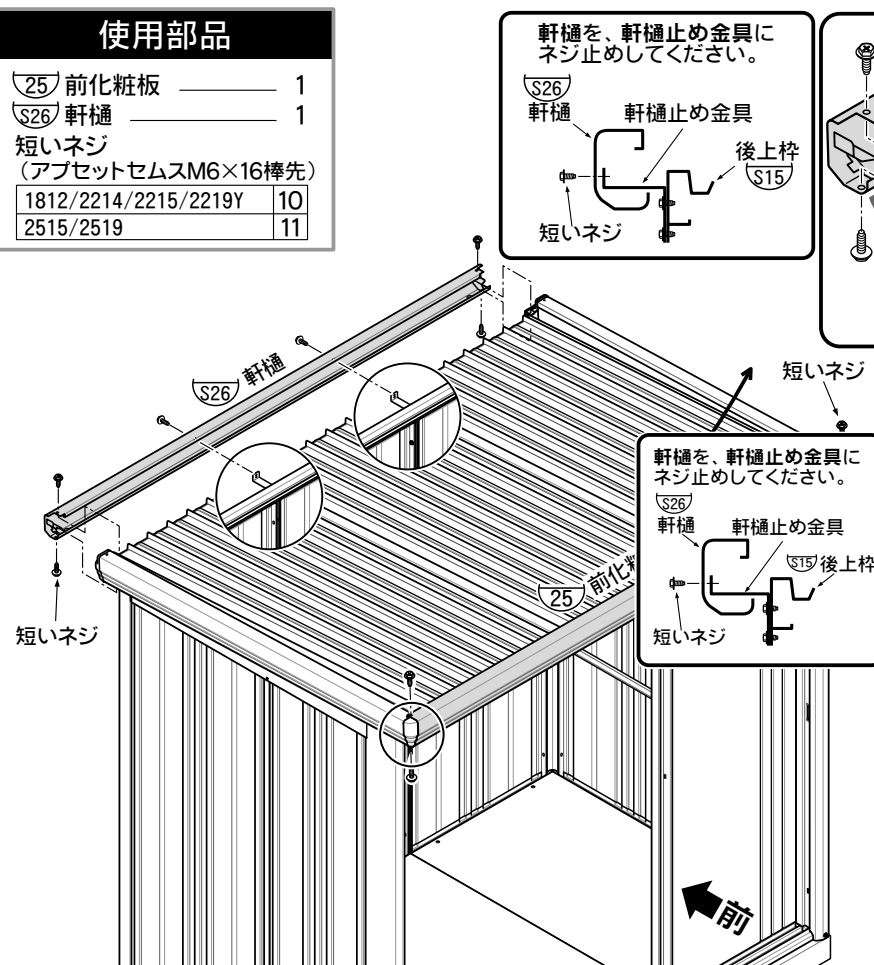
上下をひっくり返して取り付けてください。



12. 前化粧板・軒樋の組立

使用部品

〔25〕前化粧板	1
〔S26〕軒樋	1
短いネジ (アブセットセムスM6×16棒先)	
1812/2214/2215/2219Y	10
2515/2519	11

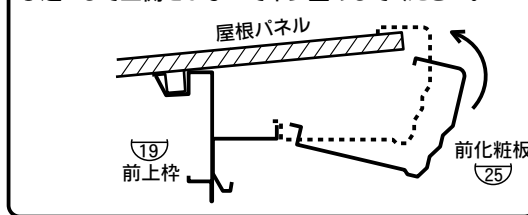


●軒樋の組立

- ① 下側を左右の化粧板に引っ掛け、
- ② 起こして上側をかぶせてネジ止めしてください。

●前化粧板の組立

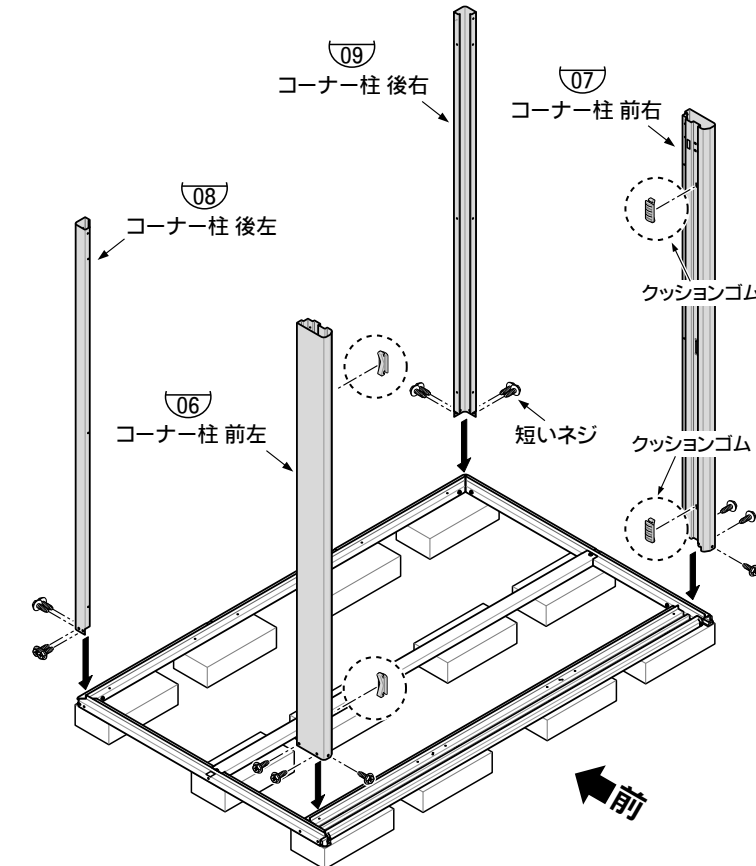
- ① 下側を前上枠に引っ掛け、
- ② 起こして上側をかぶせてネジ止めしてください。



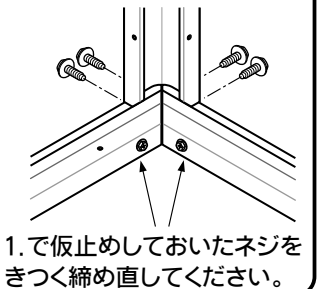
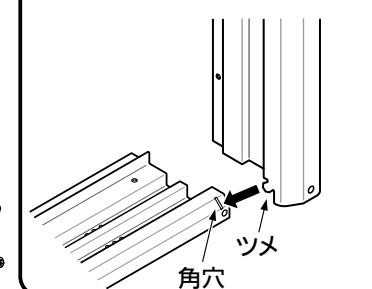
2. コーナー柱の組立

使用部品

〔06〕コーナー柱 前左	1
〔07〕コーナー柱 前右	1
〔08〕コーナー柱 後左	1
〔09〕コーナー柱 後右	1
短いネジ (アブセットセムスM6×16棒先)	14
クッションゴム (サンドホワイト)	4

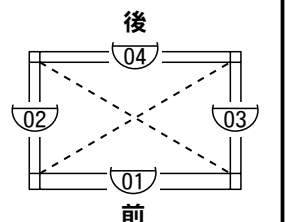


コーナー柱前の下部のツメを、床枠前の角穴に差し込みます。



チェック !!

- 床枠の直角を確認してください。対角線(右図の点線)の長さが同じになれば、直角が出ます。
- 床枠の端をぴったり合わせてください。床パネルを取り付ける際に、床パネルが入らない恐れがあります。

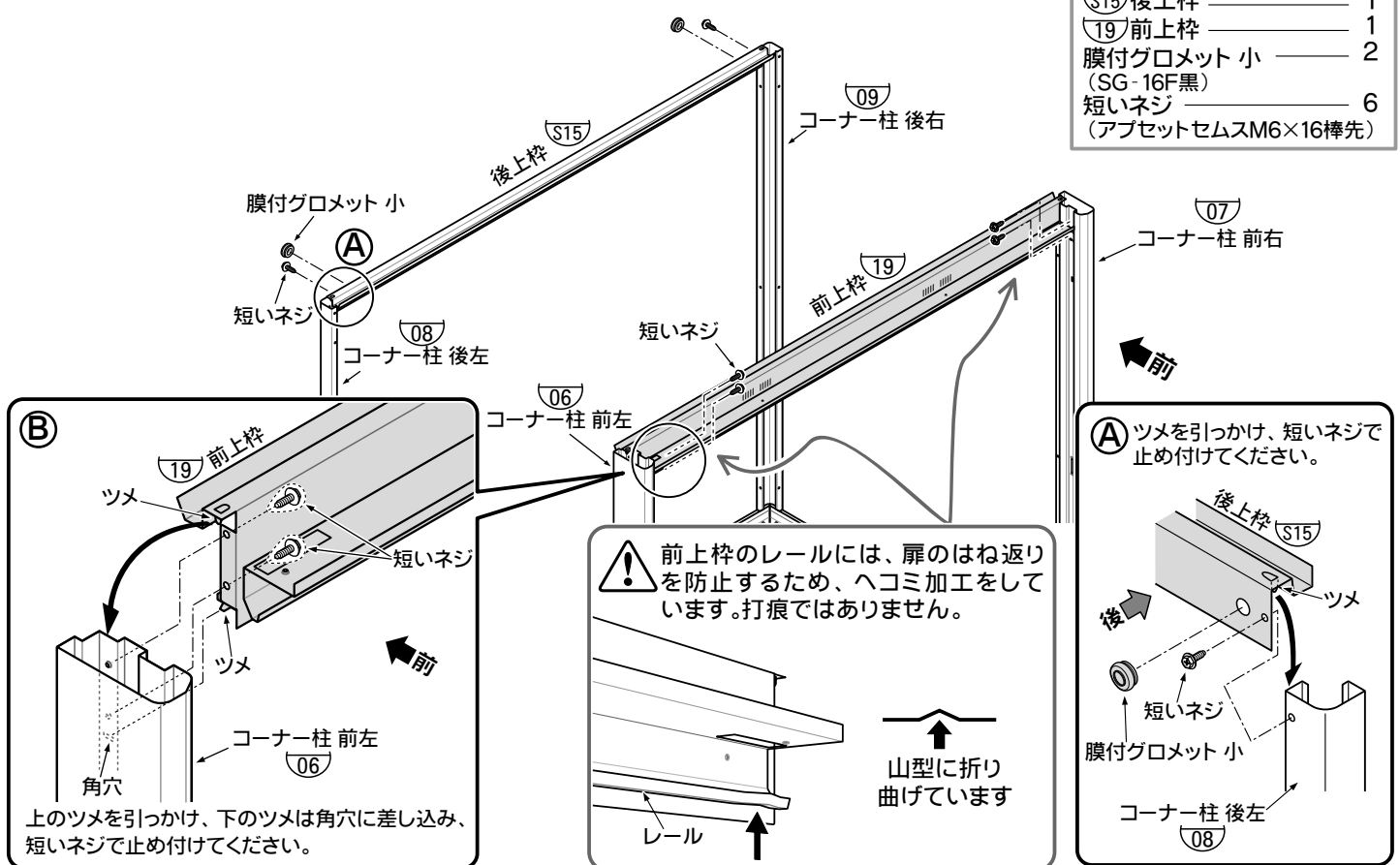


3. 後上枠の組立

- 後上枠〔S15〕を取り付けた後、両端の穴を膜付グロメット 小でふさいでください。(電気配線引き込み用の穴です。)

使用部品

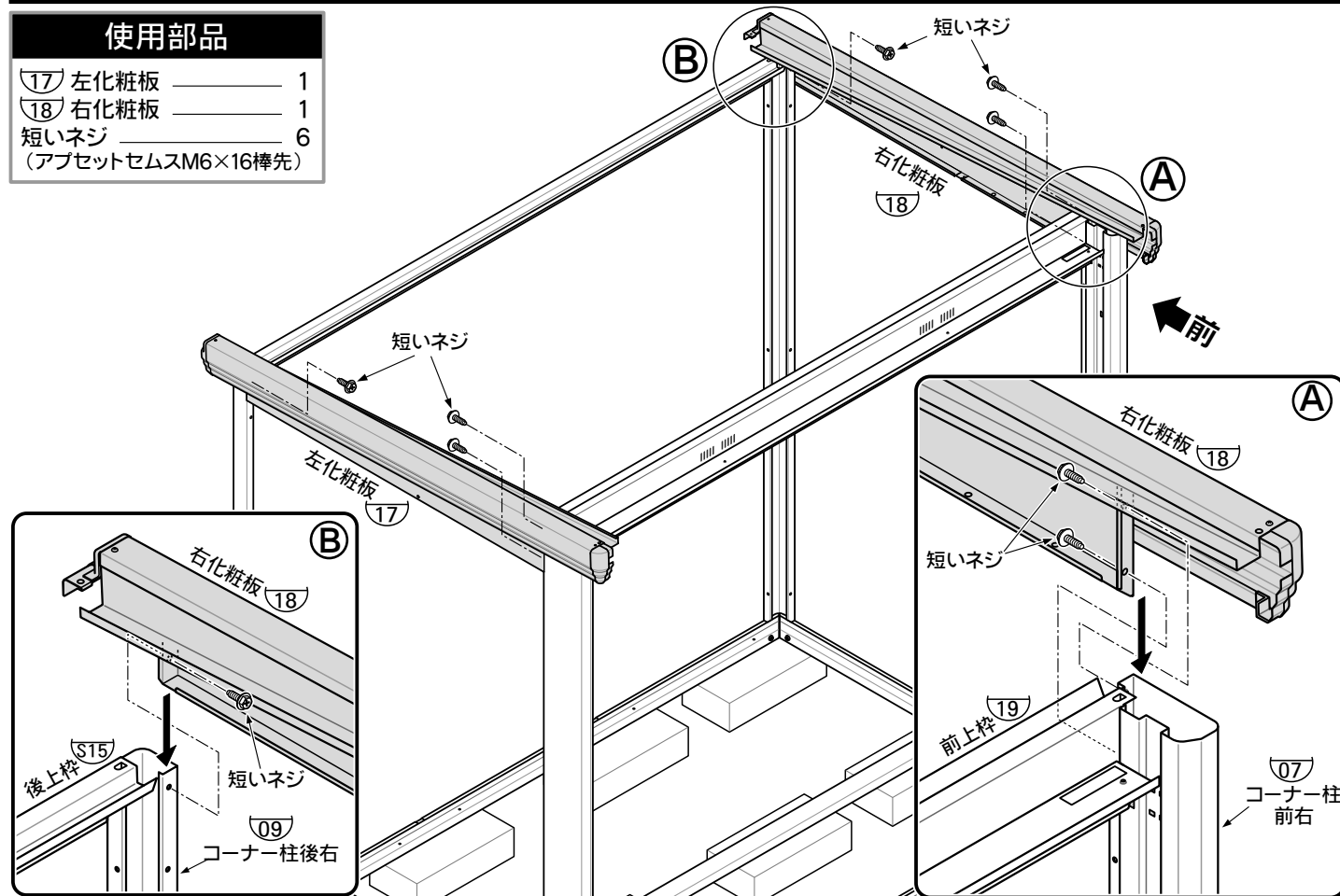
〔S15〕後上枠	1
〔19〕前上枠	1
膜付グロメット 小 (SG-16F黒)	2
短いネジ (アブセットセムスM6×16棒先)	6



4. 左右化粧板の組立

使用部品

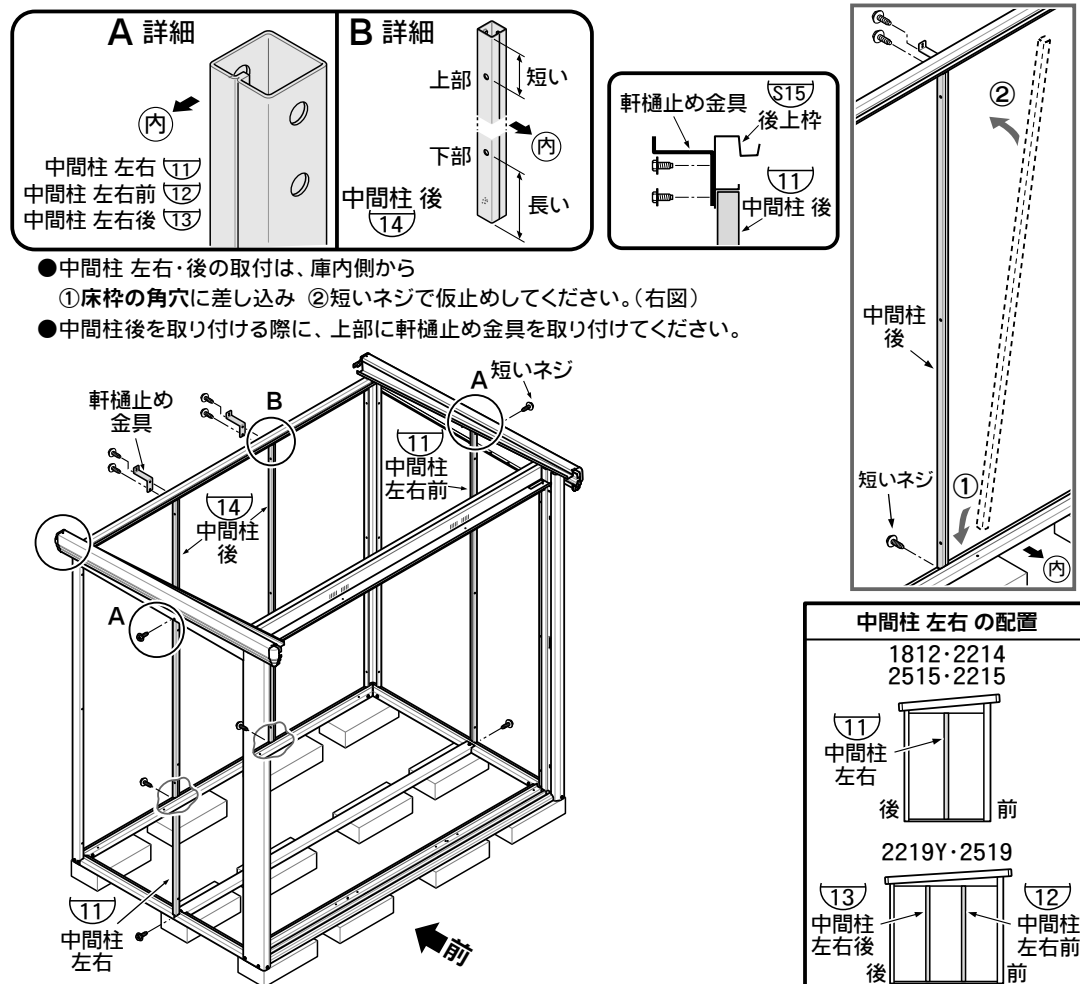
⑰ 左化粧板 _____ 1
 ⑱ 右化粧板 _____ 1
 短いネジ _____ 6
 (アブセットセムスM6×16棒先)



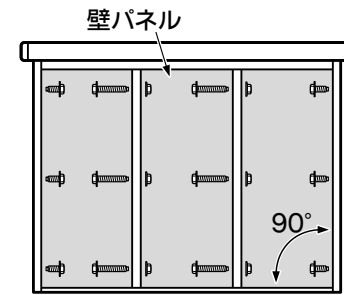
5. 中間柱 左右 及び 後 の組立

使用部品

11)	中間柱 左右	
	1812/2214/2215/2515	2
12)	中間柱 左右前	
	2219Y/2519	2
13)	中間柱 左右後	
	2219Y/2519	2
14)	中間柱 後	
	1812/2214/2215/2219Y	2
	2515/2519	3
軒止止め金具		
	1812/2214/2215/2219Y	2
	2515/2519	3
短いネジ (アブセットセムスM6×16棒先)		
	1812/2214/2215	10
	2515	13
	2219Y	14
	2519	17

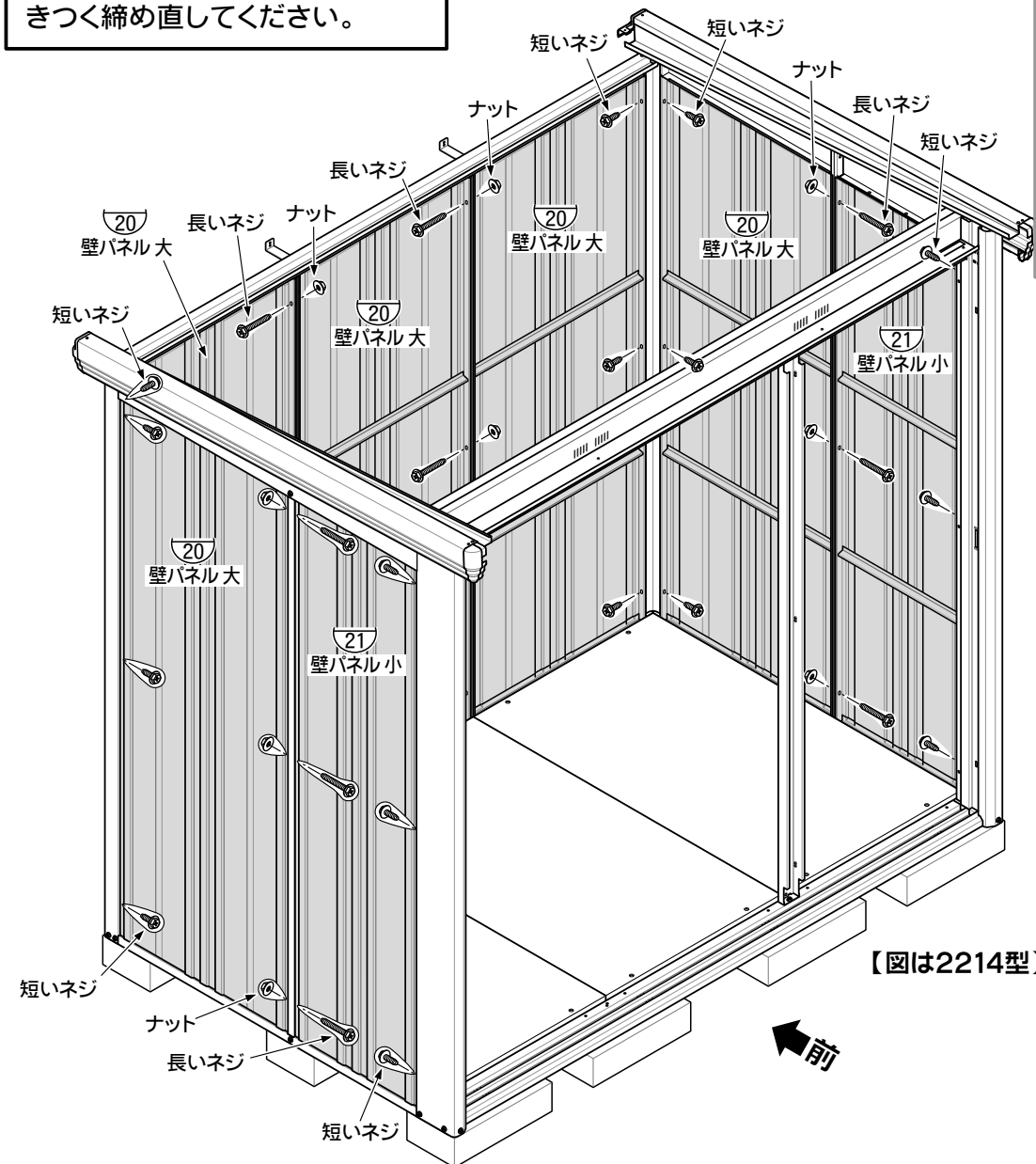


10. 壁パネルの組立



柱と床枠が直角(90°)
になるように組み立て
てください。

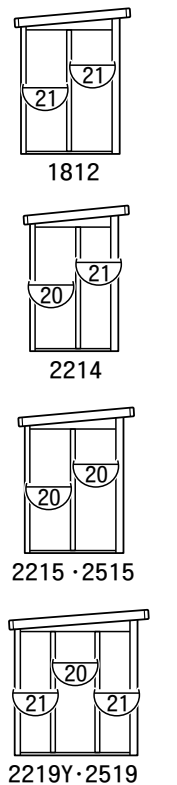
壁パネル取り付け後、仮止めしていた 中間柱 左右と 中間柱 後 をきつく締め直してください。



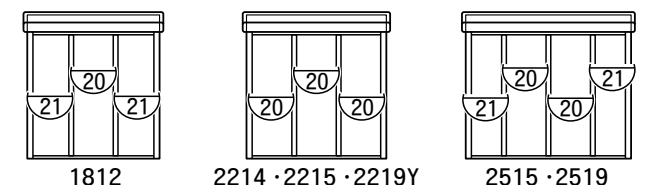
使用部品

②0 壁パネル 大	
1812	1
2519	4
2214/2219Y	5
2515	6
2215	7
②0 壁パネル 小	
2214/2515	2
2219Y	4
1812/2519	6
短いネジ ————— 18 (アプセットセムスM6×16棒先)	
長いネジ (アプセットセムスM6×35棒先)	
1812/2214/2215	12
2515	15
2219Y	18
2519	21
ナット (ワラジ"NT M6 ヴィ"大セリート無)	
1812/2214/2215	12
2515	15
2219Y	18
2519	21

■壁パネルの
取付位置
【側面】



■壁パネルの取付位置【背面】



9. 母屋の組立

使用部品

16 母屋	
1812/2214/2215/2515	1
2219Y/2519	2
長いネジ (アブセットセムスM6×35棒先)	
1812/2214/2215	10
2515	12
2219Y	20
2519	24
ナット (フランジ NT M6 ヴァ 大ねじ無)	
1812/2214/2215	10
2515	12
2219Y	20
2519	24

① 母屋を持ち上げ、中央部に長いネジを通します(2本)。
(母屋を取り付ける際、母屋のミミ部分で中間柱を挟み込むようにして取り付けてください。)

母屋の向き(高い方が前側)に注意して取付けて下さい。

② 両端に長いネジを通し、ナットで締め付けます。

ナット 長いネジ

中間柱 左右 11
中間柱 左右前 12 または 中間柱 左右後 13

③ すべてのネジをナットで締め付けます。

ナット 長いネジ

6. 中間柱 前 の組立

A詳細

A右

長いネジ ナット

中間柱前の取付の際は、ネジの締め忘れがないように注意してください。

長いネジ ナット 中間柱前 10

A右 A左 B右 B左

使用部品

10 中間柱 前	1
短いネジ (アブセットセムスM6×16棒先)	1
長いネジ (アブセットセムスM6×35棒先)	1
ナット (フランジ NT M6 ヴァ 大ねじ無)	1

A右・B右 … 扉『右引き』用の取付位置
A左・B左 … 扉『左引き』用の取付位置
図示は『右引き』の組立例です。

B詳細

B右

短いネジ

奥の方へ押し付けてネジ止めしてください。
(扉の開閉に支障をきたす場合があります。)

B左

『左引き』の場合は、中間柱前の上下をひっくり返して床枠前 01 の左側に取り付けてください。

耳の向きに注意

『左引き』 『右引き』

ミミが左向き ミミが右向き

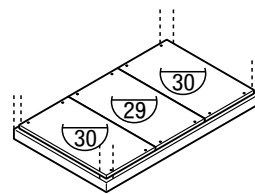
床枠へ取付けるネジ穴は、『右引き』とも左右のコーナー柱から数えて3番目です。

中間柱前の取付け穴
前壁パネルの取付け穴

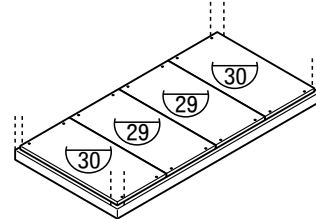
7. 床パネルの組立

使用部品	
②9 床パネル 中央	
1812/2214/2215/2219Y	1
2515/2519	2
③0 床パネル 端	
段付ネジ (75mm 段付ネジ M6×25.5 あら先)	
1812/2214/2215/2219Y	12
2515/2519	16

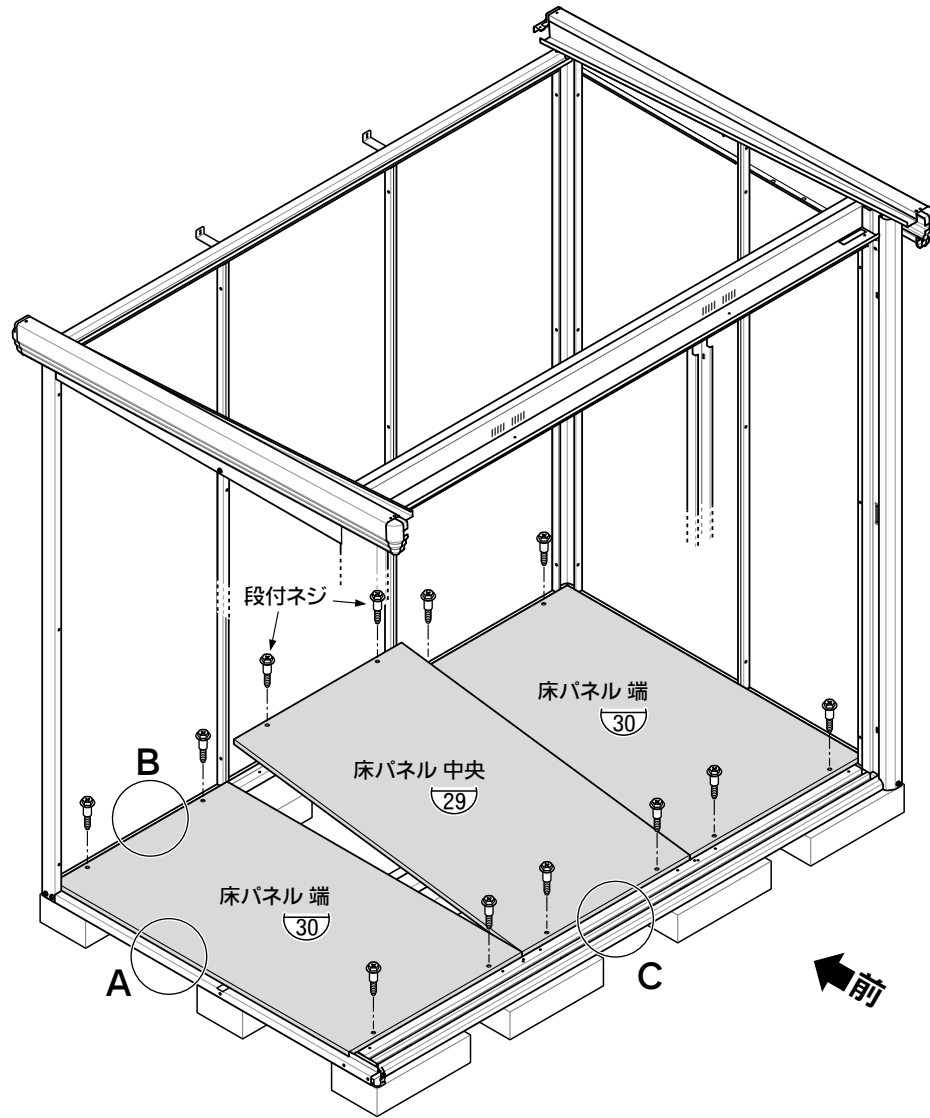
●床パネルの取付位置
【1812・2214・2215・2219Y型】



【2515・2519型】



床パネル中央②9は中央部分に、床パネル端③0は左右両端に必ず取り付けてください。



●床枠の水切り部分に、かぶさるように取り付けてください。

A 詳細

B 詳細

C 詳細

組立には、床パネル専用の段付ネジをご使用ください。

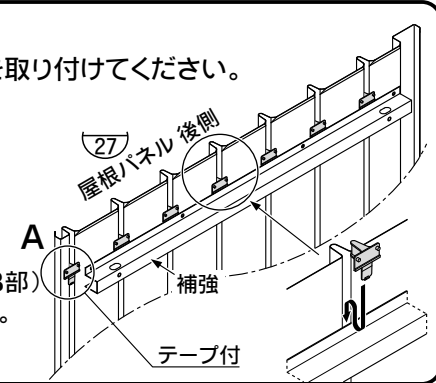
8. 屋根パネルの組立

屋根パネルの組立前に

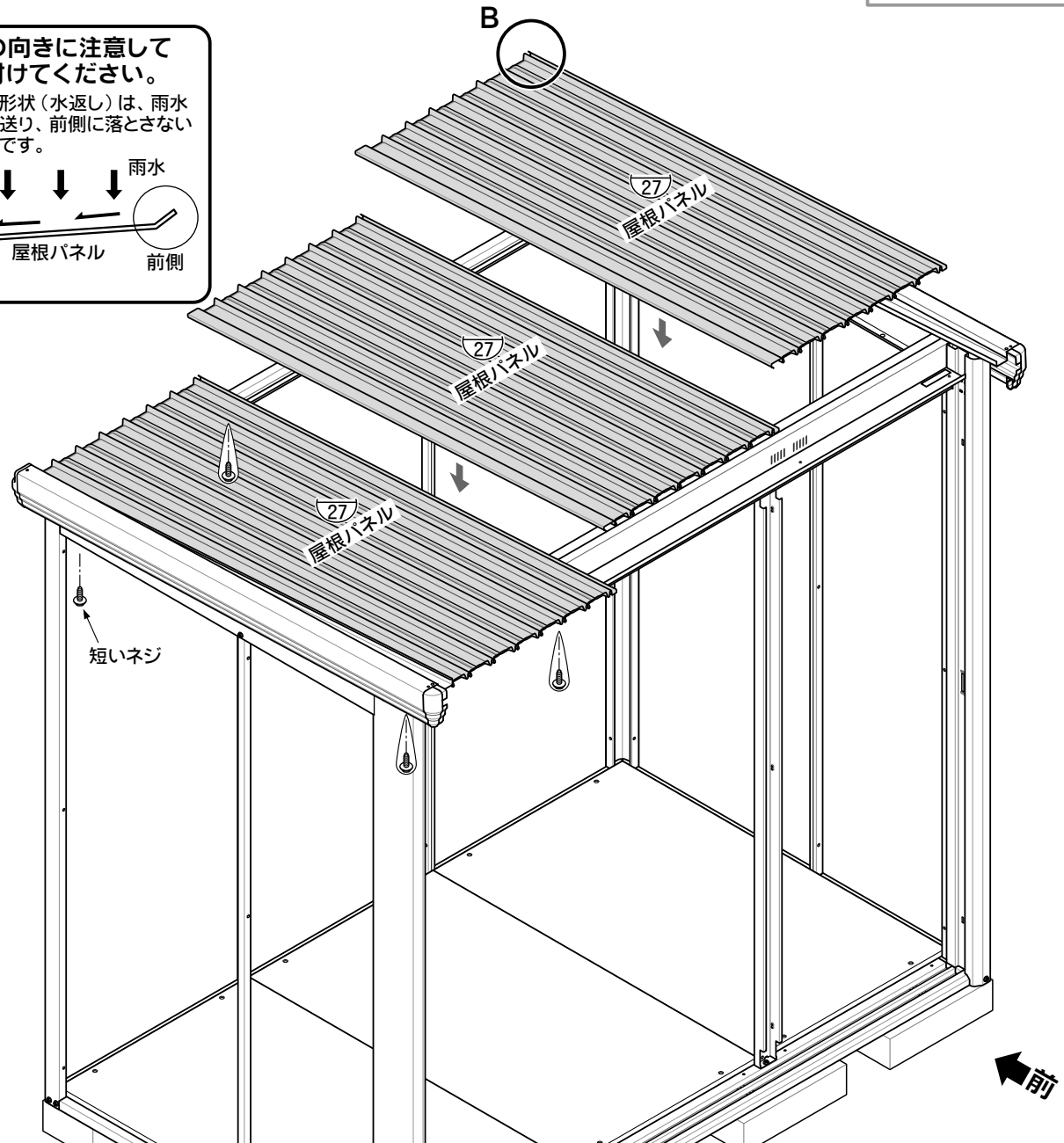
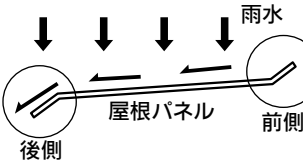
●屋根パネル②7の後側に雪止(ホコリ止め)を取り付けてください。

- 屋根パネル②7 1枚につき、1袋使用します。
(機種によっては予備が含まれます。)
- 屋根パネル 小②8には取り付けません。
- テープ付(1袋に1個)は、補強のない部分
(右図のA部)に使用します。

③ただし、2214・2215・2219Y型の右端(下図のB部)には、雪止(テープ付)を取り付けてください。



屋根の向きに注意して
取り付けてください。
この屋根形状(水返し)は、雨水
を後側へ送り、前側に落とさない
為のものです。



後側 前側

■屋根パネル並べ順

1812型	2214・2215・2219Y型	2515・2519型
②8 ②7 ②7 ②8	②7 ②7 ②7	②8 ②7 ②7 ②7 ②8

■屋根パネルの重ね合わせ方(前から見た断面図)

使用部品	
②7 屋根パネル	
1812	2
2214/2215/2219Y/2515/2519	3
②8 屋根パネル 小	
1812/2515/2519	2
短いネジ (アブセットセムスM6×16棒先)	
1812/2214/2215/2219Y	12
2515/2519	16
雪止め	3袋